

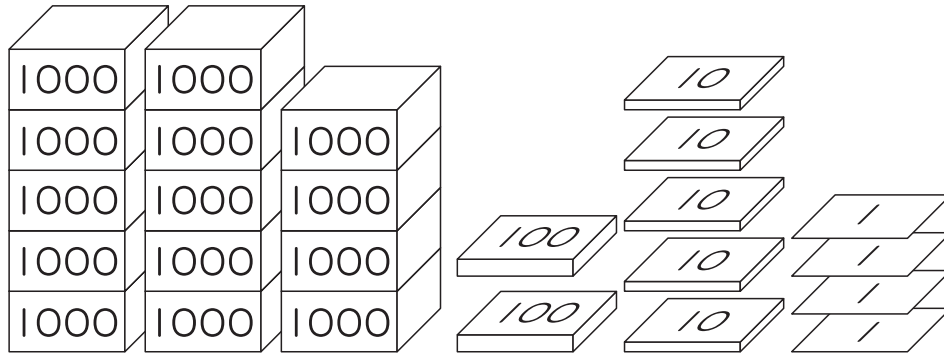
8 10000より大きい数 ①

名前

ねらい

10万未満の数の読み方、表し方、5位数の構成と位取りの仕組みを理解する。

① 紙は何まいあるでしょうか。数を書きましょう。



一万の位	千の位	百の位	十の位	一の位
1	4	2	5	4

(14254) まい

② □にあてはまる数を書きましょう。

① 1000を10こあつめた数を 万といいます。② 10000を3こあつめた数を 万といいます。

③ 数字で書きましょう。

① 三万二千三百六十七 (32367)

② 六万八 (60008)

③ 一万を9こ、千を6こあわせた数 (96000)

④ □に0～9の数を入れて、^{もんだい}問題を作りましょう。答えも書きましょう。

(例) 一万を こ、千を こ、百を こ、十を こ、
 一を こあわせた数。 (21809)

ねらい

1億未満の数の構成と位取りの仕組み（百万、千万の位）を理解する。

① 次の^{つぎ}□の中に数を書きましょう。① 1000 が 10 こで一万 100001万 が 10 こで十万 10000010万 が 10 こで百万 1000000100万が 10 こで千万 10000000② 1000万を6こと、100万を5こと、1万を8こと、100を4こと、
1を3こあわせた数65080403

③ 二千五百六十七万五千二十

25675020

② 次の数を書きましょう。

① 1000万を4こと、10万を8こあわせた数 (40800000)② 1000万より100大きい数 (10000100)③ 1000万より100小さい数 (9999900)④ 100万を36こあつめた数 (36000000)

8 10000より大きい数 ③

名前

ねらい 「数直線」の用語、数直線で5位数の順序、数の相対的な大きさについて理解する。

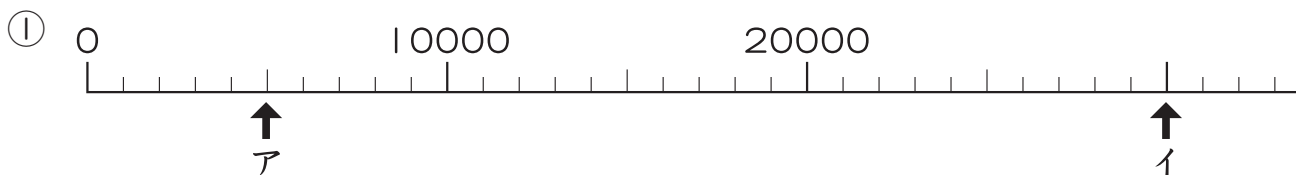
① 次の（ ）にあてはまる数を書きましょう。

一番小さいメモリは（ 1000 ）を表しています。

① 下の数直線のすきな場所に↑を書いて、
その場所が表す数を答えましょう。

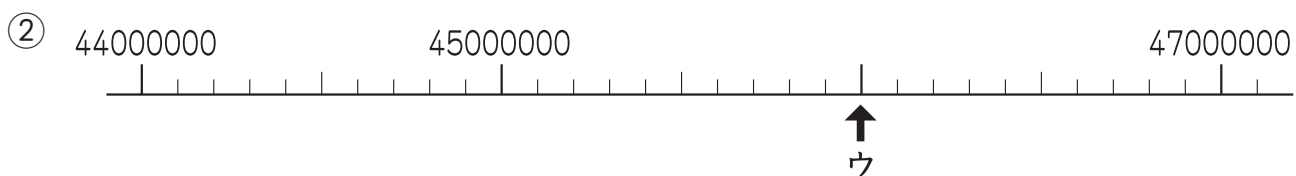
(例) (24000)

② 大きな数について、数直線を見て、□に数を書きましょう。



アは 5000 です。

イは 30000 です。



ウは 460000000 です。

③ 140000について調べましょう。（ ）に数を書きましょう。



① 140000を表すメモリに、↑を書きましょう。

② 140000は1000を何こあつめた数でしょう。 (140) に

ねらい 「不等号」「等号」の意味と使い方、1億未満の数の大小について理解する。

① () にあてはまることばを書きましょう。

>、<のしるしを(**不等号**)、=のしるしを(**等号**)といいます。

② □にあてはまる>、<、=のしるしを書きましょう。

① 1000 10000

② 38920 37920

③ 60720 60072

④ 10000 500+500

⑤ 2000+30000 34000

⑥ 10000-1 9999

③ □にあてはまる^{とうごう}等号か^{ふとうごう}不等号を書きましょう。

① 47890 379810

② 45 7×6

③ 200+10000 10200

④ 52万-10万 40万

④ 下の□にあてはまる数を、0～9の中からえらんで書きましょう。

① 364 < 3 4

答え (**7、8、9**)

② 152 < 1 7

答え (**5、6、7、8、9**)

8 10000より大きい数 ⑤

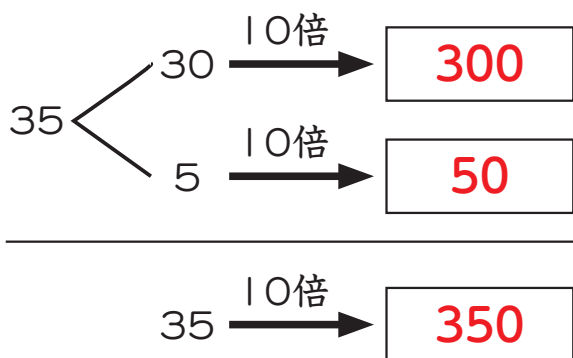
名前

ねらい 10倍した数の大きさと数の表し方を理解する。

① □にあてはまる数を入れましょう。

① 10円の10^{ばい}倍は 100 円 ② 30円の10倍は 300 円

② 35を10倍にすると、どんな数になるでしょうか。



10倍すると
位が1つ上がって、
右はしの0がふえるのね。

	百	十	一
		3	5
	3	5	0

10倍



③ 次の数を10倍した数を書きましょう。

① 16 (160) ② 550 (5500)

③ 135 (1350) ④ 700 (7000)

⑤ 1200 (12000) ⑥ 3000 (30000)

④ □に数を入れて、問題^{もんだい}を作りましょう。こたえも書きましょう。

(例)

98 $\xrightarrow{10\text{倍すると...}}$ 980

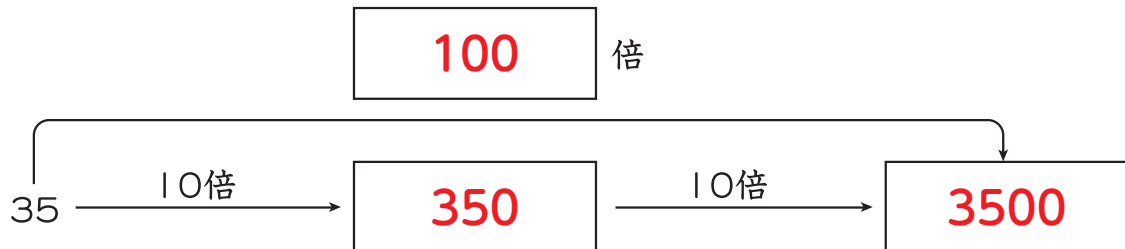
(1 ずつ98円のノートを10 ずつ買うと、代金は何円になるでしょうか。)

8 10000より大きい数 ⑥

名前

ねらい 100倍、1000倍した数の大きさと数の表し方を理解する。

- ① 35を10^{ばい}倍した数を10倍すると、どんな数になるでしょうか。



- ② □にあてはまる数を書きましょう。

一万の位	千の位	百の位	十の位	一の位	
			3	5	
		3	5	0	10倍
	3	5	0	0	10倍
3	5	0	0	0	10倍

100 倍

1000 倍

- ③ つぎ 次の数の100倍、1000倍した数を書きましょう。

	100倍にした数	1000倍にした数
① 28	2800	28000
② 975	97500	975000
③ 600	60000	600000
④ 5700	570000	5700000
⑤ 8000	800000	8000000
⑥ 2万	200万	2000万

8 10000より大きい数 ⑦

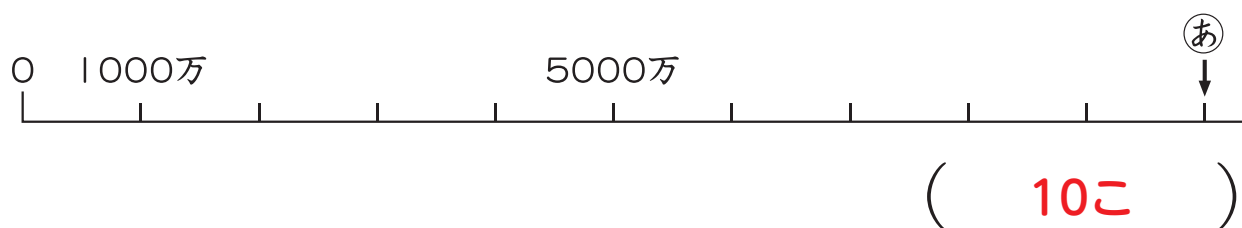
名前

ねらい 10でわった数の表し方や、1億について理解する。

① 次の数を10でわった数を書きましょう。

- ① 50 (5) ② 800 (80)
 ③ 530 (53) ④ 2500 (250)
 ⑤ 10万 (1万) ⑥ 100万 (10万)

② 下の数直線で、⑥のめもりが表す数は、1000万を何こあつめた数でしょうか。



③ () にあてはまる数やことばを書きましょう。

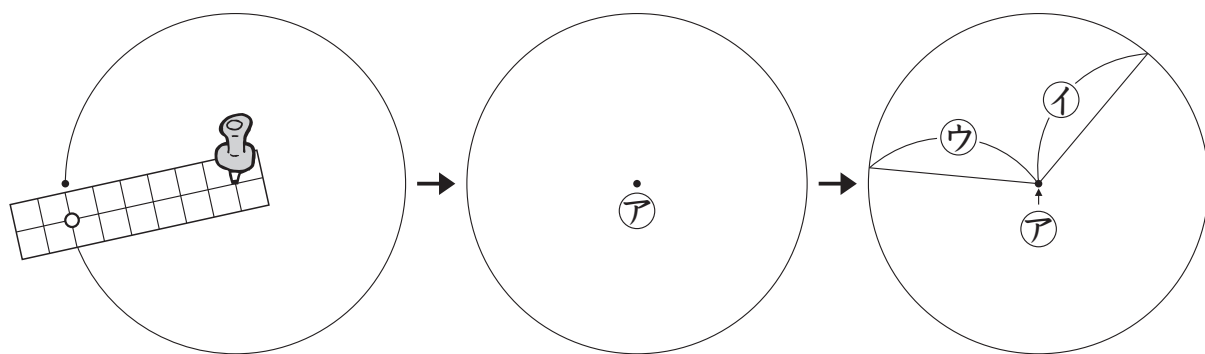
1000万を10倍した数を (1億) といい、
 (100000000) と書きます。

④ □ にあてはまる数を書きましょう。

- ① 1000000000は、99999999より 1 大きい数です。
 ② 1000000000は、99999990より 10 大きい数です。
 ③ 1000000000は、100000000を 10 こあつめた数です。
 ④ 1000000000は、10000を 10000 こあつめた数です。

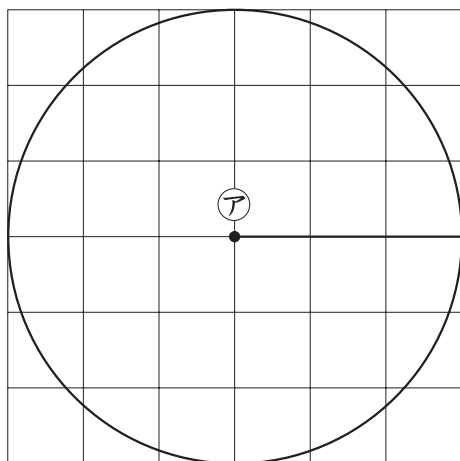
ねらい 円の意味、性質、円の中心、半径を理解する。(2時間)

- ① ピンと工作用紙^{つか}を使って、きちんとしたまるい形をかきました。
() にあてはまることばを書きましょう。

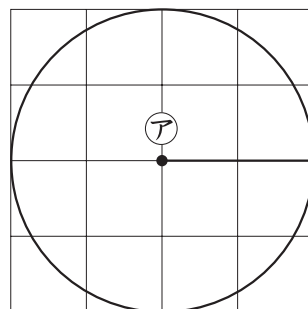


- ① 上のように、1つの点から同じ長さになるようにかいたまるい形を、
(**円**) といいます。
- ② はりをさした、まん中の点^アを、(**円の中心**) といいます。
- ③ ①や③の直線は、^アの点から円のまわりまでかいた直線で、
(**半径**) といいます。1つの円の(**半径**) は、
すべて同じ長さです。

- ② 下の^アの点は円の^{ちゅうしん}中心です。^{はんけい}半径は何cmでしょうか。



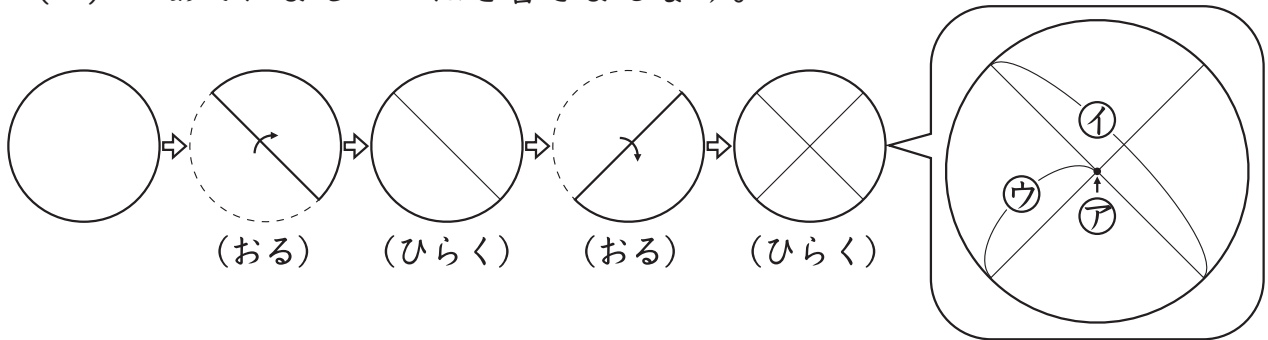
(**3 cm**)



(**2 cm**)

ねらい 円の直径を理解する。

- ① 円の形をした紙を、きちんと重なるように2つにおります。
何回か同じようにおってひらくと、おりめの線ができました。
() にあてはまることばを書きましょう。



- ① おりめの線が交わった点は、円の(**中心**)です。
- ② ①の長さは、点アを通過して、円のまわりからまわりまでかいた直線になっています。このような直線を円の(**直径**)といいます。
- ③ ウの長さは、円の(**半径**)で、①の長さのちょうど半分の長さになっています。
- ④ 1つの円の(**直径**)の長さは、半径の長さの2倍になっています。
- ② 次の□にあてはまる数を書きましょう。

① 半径が5cmの円の直径は 10 cmです。

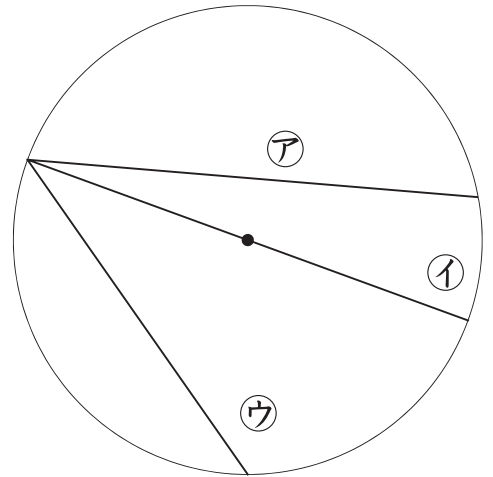
② 直径が12cmの円の半径は 6 cmです。

ねらい 円の直径の性質を理解する。

Ⅰ 次の () にあてはまることばを書きましょう。

- ① 右の円の中にひいた直線で
いちばん長い直線はア、イ、ウのうち、
どれでしょうか。

(イ)



- ② 円の直径は、円のまわりからまわりまで
かいた直線の中でいちばん (長い) 直線です。

Ⅱ 右のような長方形の紙に同じ大きさの円が
4つ入っています。

- ① 1つの円の直径は何cmでしょうか。

〈式〉 $32 \div 4 = 8$

答え 8 cm

- ② 1つの円の半径は何cmでしょうか。

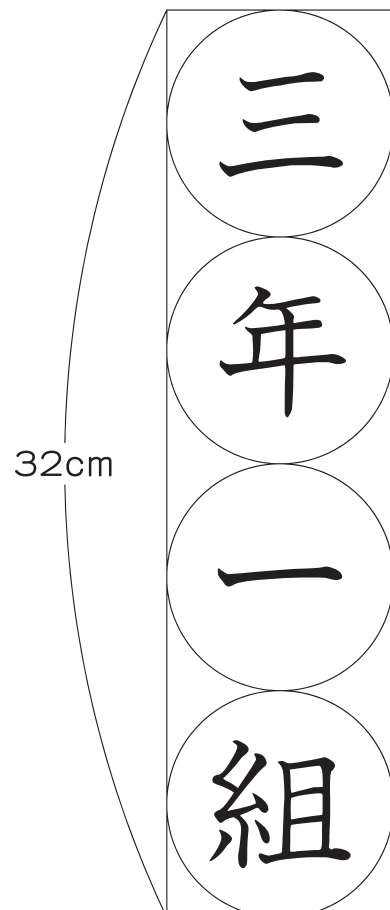
〈式〉 $8 \div 2 = 4$

または $32 \div 8 = 4$ 答え 4 cm

- ③ 紙のたての長さは32cmです。
横の長さは何cmでしょうか。

〈式〉 $32 \div 4 = 8$

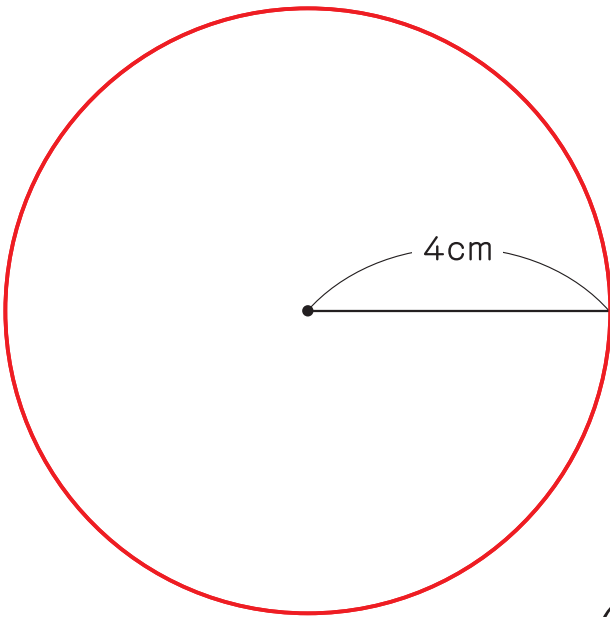
答え 8 cm



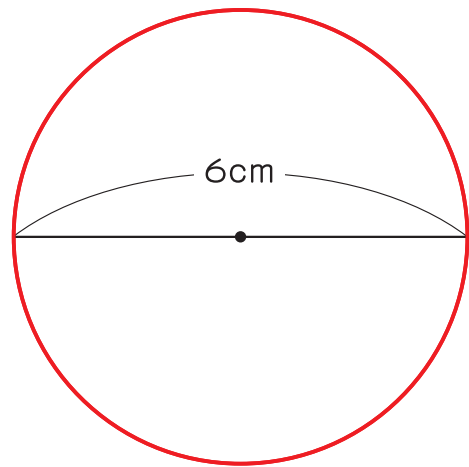
ねらい コンパスの使い方を理解し、円の作図ができる。

- Ⅰ ^{はんけい}半径4 cmの円と^{ちよっけい}直径6 cmの円をかきましょう。
また、どちらが大きいでしょうか。

① 半径4 cmの円

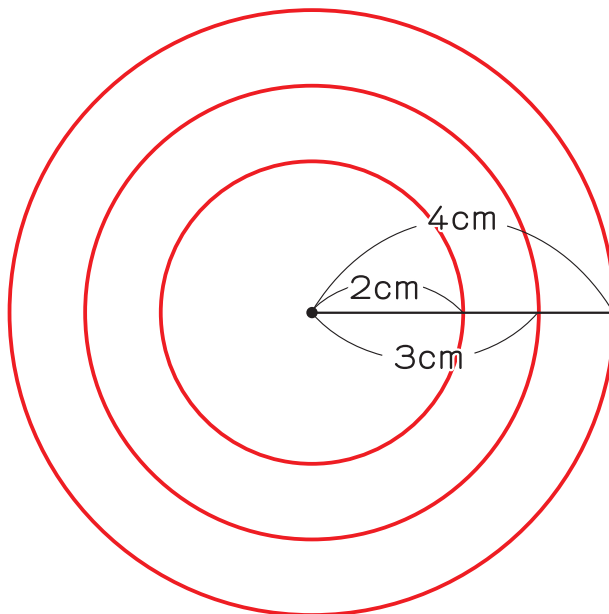


② 直径6 cmの円



答え (**半径4 cmの円**) のほうが大きい。

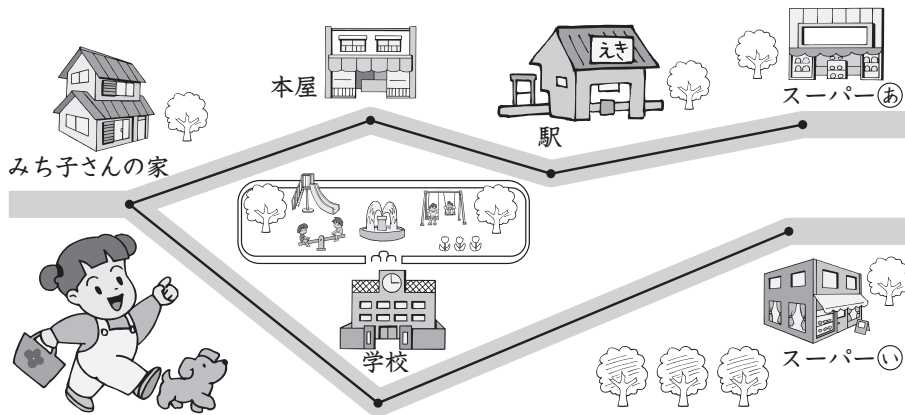
- Ⅱ 半径2 cm、3 cm、4 cmの円を同じ点を円の中心にしてかきましょう。



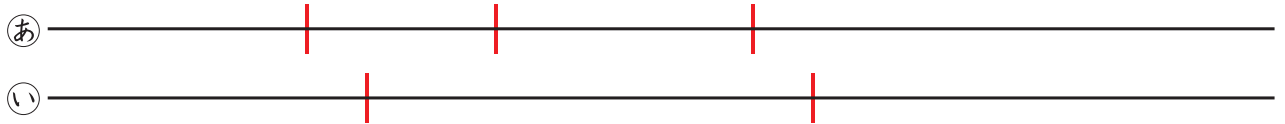
ねらい コンパスの機能を理解する。

- ① みち子さんが買い物に行きます。家から近いスーパーは①、②のどちらでしょうか。

() にあてはまる記号やことばを書きましょう。

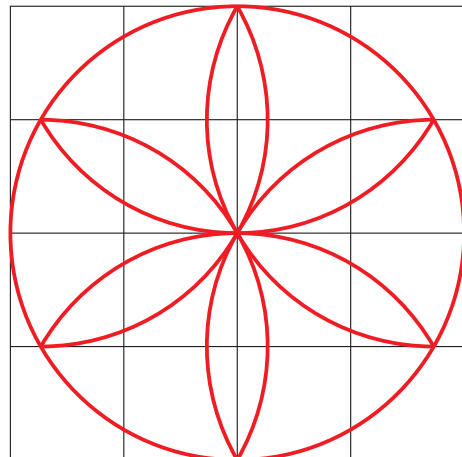
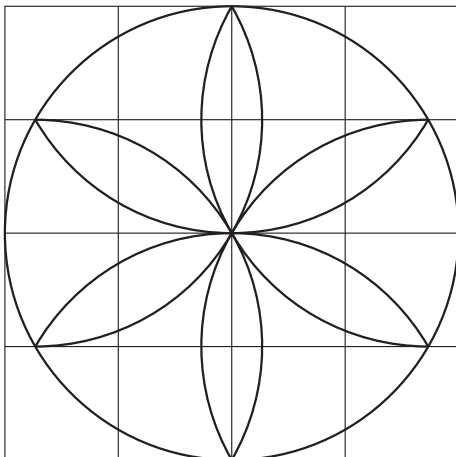


- ① コンパスを使って、それぞれの長さを直線の上に写し取りましょう。



- ② 家から近いスーパーは(**あ**)のスーパーです。
- ③ コンパスは、長さを(**写し取る**)ときにも使います。

- ② コンパスを使って、下の図と同じもようをかきましょう。

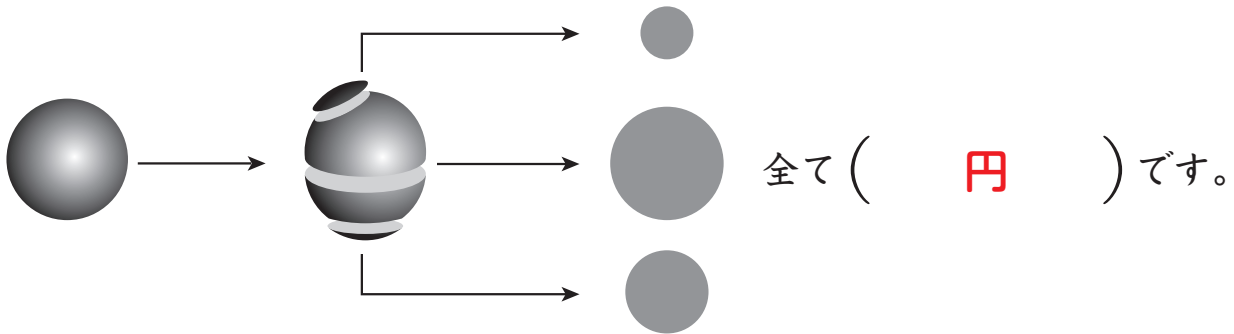


ねらい 球の意味、性質、球の中心、半径、直径を理解する。

① どこから見ても円に見える形はどれでしょうか。番号を□に書きましょう。



② 球の切り口の形は、どのような形でしょうか。



③ () にあてはまることばを書きましょう。

球を (半分) に切ったときの切り口の円の中心、半径、直径は、
(球) の中心、半径、直径になります。

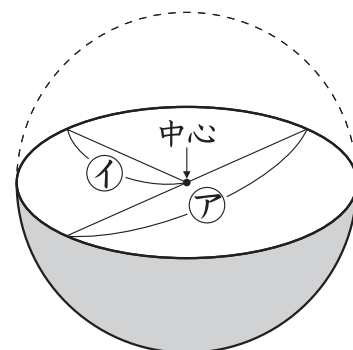
④ 右の図は、球を半分に切ったときの形です。

① アが18cmのとき、①は何cmでしょうか。

9 cm

② ①が20cmのとき、アは何cmでしょうか。

40 cm

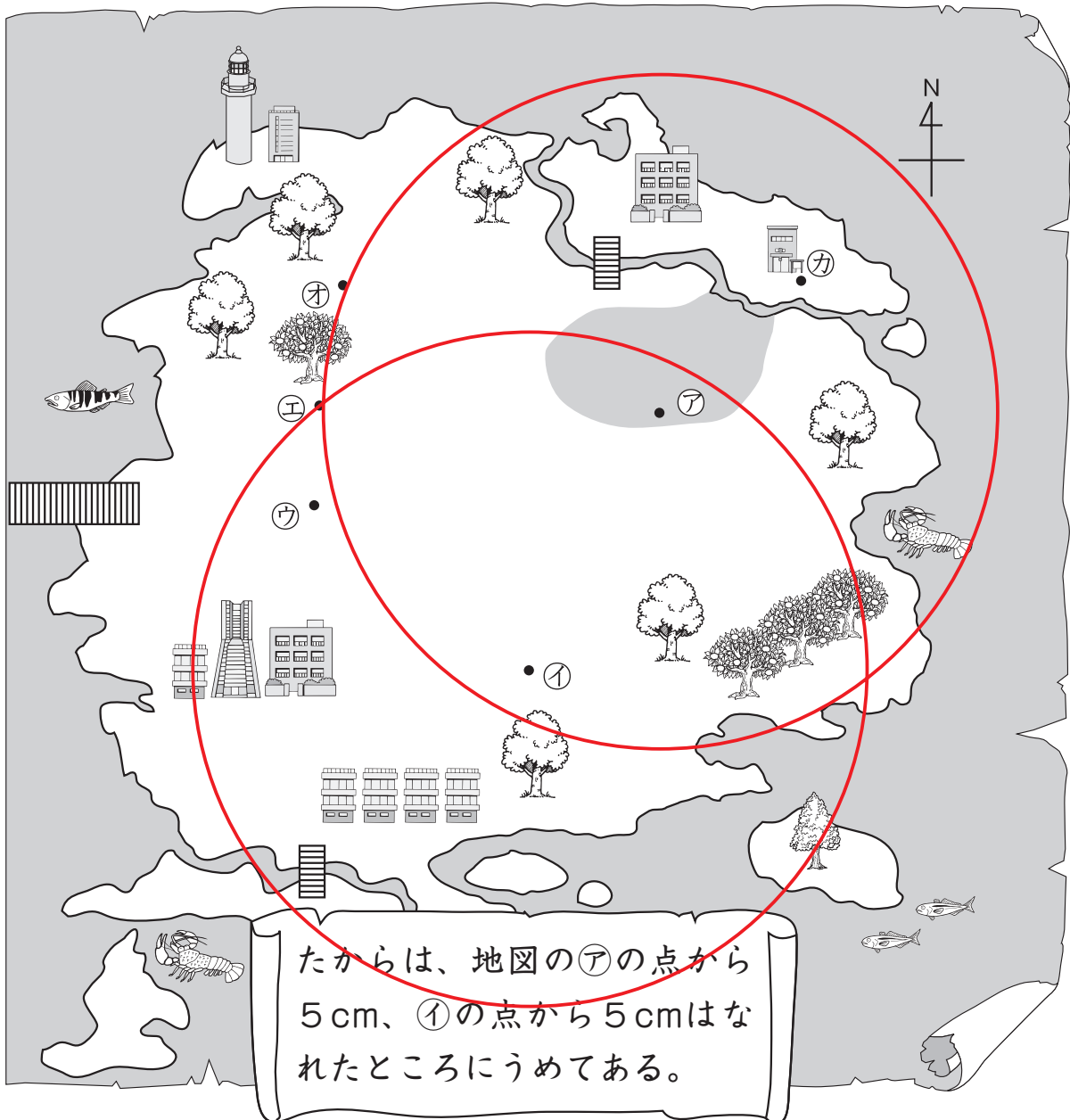


9 円と球
(学んだことを使おう) ⑦

名
前

ねらい 生活の場面でコンパスを活用し、その機能と有用性について理解を深める。

- Ⅰ コンパスを使^{つか}って、下の地図で、たからがうめてある点を見つけましょう。



答え たからがうめてある点は (**エ**) です。

かけ算とわり算の図 ①

名前

ねらい 乗法や除法の数直線の見方や使い方を理解する。

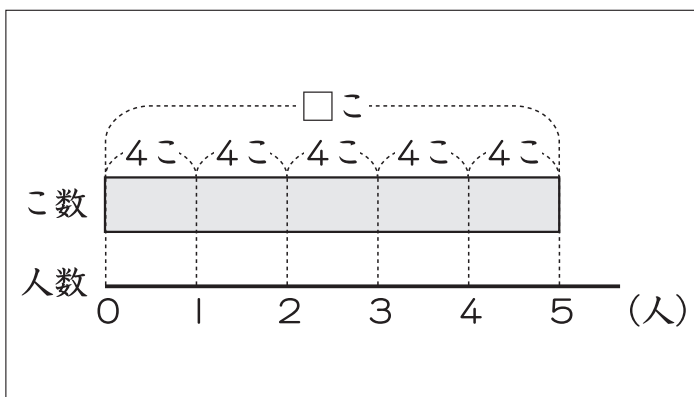
① 次の問題を、それぞれ式に表しましょう。

- ① チョコレートを、1人に4こずつ、5人に配ります。

チョコレートは何こいるでしょうか。

〈式〉 $4 \times 5 = 20$

答え 20こ

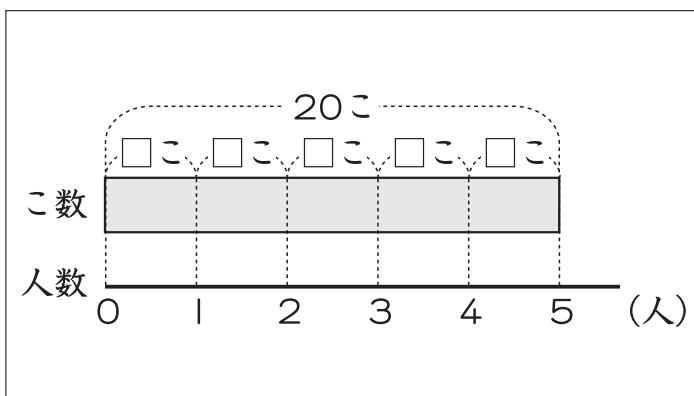


- ② 20このチョコレートを、同じ数ずつ5人で分けます。

1人分は何こになるでしょうか。

〈式〉 $20 \div 5 = 4$

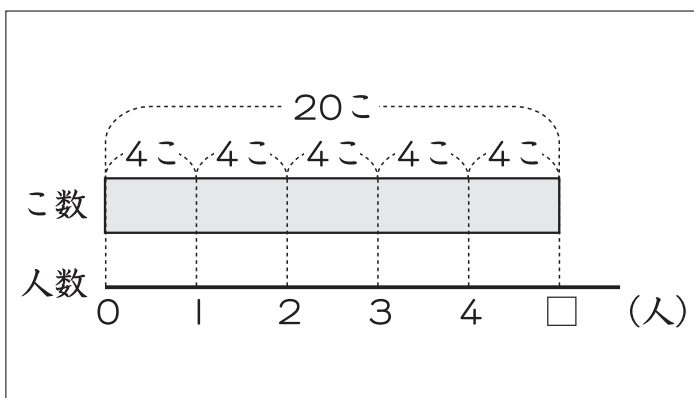
答え 4こ



- ③ 20このチョコレートを、1人に4こずつ分けます。何人に分けられるでしょうか。

〈式〉 $20 \div 4 = 5$

答え 5人



かけ算とわり算の図 ②

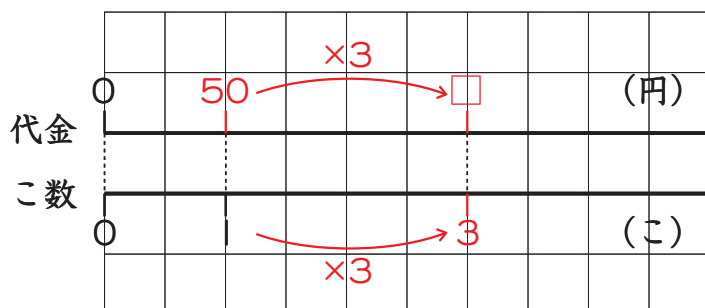
名前

ねらい 乗法や除法の数直線のかき方や使い方を理解する。

① 次の問題文にあった数直線をかき、□にあてはまる数を書きましょう。

①

1こ50円のチョコレートを買います。
代金は何円になるでしょうか。



数直線のかき方

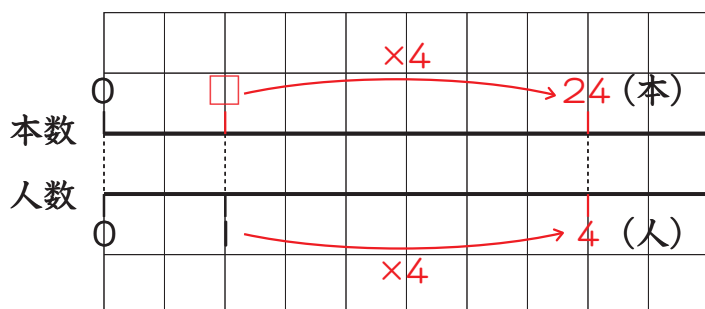
- ①左はしに0のめもりをとる。
- ②下の数直線に、1のめもりをとる。
- ③単位を書く。
- ④1このねだん50(円)のめもりをとる。
- ⑤3(こ)のめもりと、その代金(円)のめもりをとる。

こ数が3倍になると、代金も 3 倍になります。

だから、50 円の3倍で、式は 50 × 3 になります。

②

24本のえんぴつを4人で同じ数ずつ分けます。
1人分は何本になるでしょうか。



数直線のかき方

- ①左はしに0のめもりをとる。
- ②下の数直線に、1のめもりをとる。
- ③単位を書く。
- ④1人分の本数□(本)のめもりをとる。
- ⑤4(人分)のめもりと、その本数24(本)のめもりをとる。

人数が4倍になると、本数も 4 倍になります。

だから、その本数は24本です。

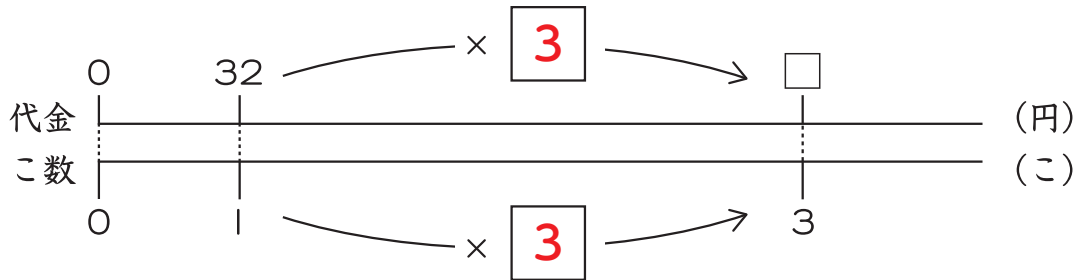
$$\boxed{\square} \times \boxed{4} = 24 \rightarrow 24 \div \boxed{4} = \boxed{6}$$

10 かけ算の筆算 ①

名前

ねらい 2位数×1位数の乗法の計算の仕方を理解する。

- ① 1こ32円のチョコレートを3こ買うと、代金は何円になるでしょうか。



- ① にあてはまる数を書きましょう。

- ② 上の数直線をもとに式を書きましょう。

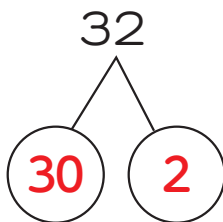
〈式〉

 32×3

- ③ 計算のしかたを2通り考えました。あてはまる数や式を書きましょう。

ゆみさん

わたしは32を
(30) と (2) に
分けて考えました。



だから

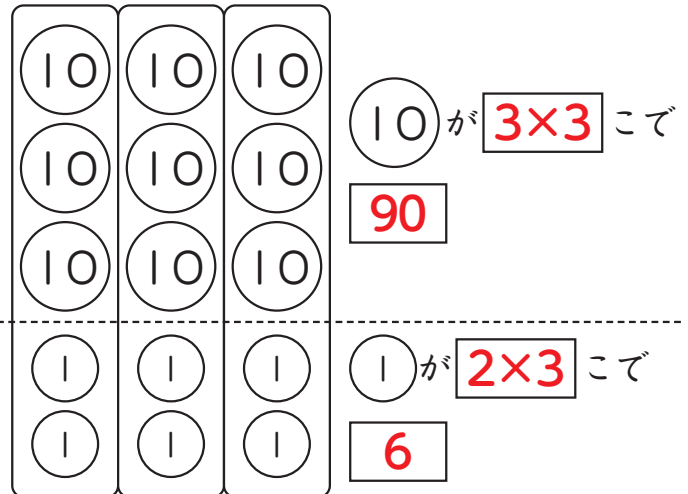
$$\boxed{30} \times \boxed{3} = \boxed{90} \text{ と}$$

$$\boxed{2} \times \boxed{3} = \boxed{6}$$

をあわせて $\boxed{96}$

けんじさん

ぼくは10が何こ1が何こになるかを
考えました。

あわせて $\boxed{96}$

- ④ 32×3 の答えはいくつになるでしょうか。□に答えをかきましょう。

〈式〉 $32 \times 3 = \boxed{96}$

10 かけ算の筆算 ②

名前

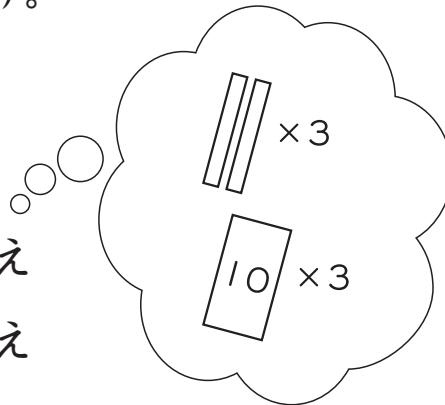
ねらい 2位数×1位数の筆算の仕方を理解する。

① 12×3 の筆算^{ひっさん}のしかたを考えます。

① □にあてはまる数を書きましょう。

$$\begin{array}{r}
 12 \\
 \times 3 \\
 \hline
 6 \\
 30 \\
 \hline
 36
 \end{array}$$

$6 \rightarrow \boxed{2} \times 3$ の答え
 $30 \rightarrow \boxed{10} \times 3$ の答え

② 12×3 を筆算で計算をしましょう。

	1	2
×		3
	3	6

② □にあてはまる数を書きましょう。

①

$$\begin{array}{r}
 32 \\
 \times 3 \\
 \hline
 \boxed{6} \dots\dots \boxed{2} \times \boxed{3} \\
 \boxed{9} \boxed{} \dots\dots \boxed{30} \times \boxed{3} \\
 \hline
 \boxed{9} \boxed{6}
 \end{array}$$

3も正解

②

$$\begin{array}{r}
 43 \\
 \times 2 \\
 \hline
 \boxed{6} \dots\dots \boxed{3} \times \boxed{2} \\
 \boxed{8} \boxed{} \dots\dots \boxed{40} \times \boxed{2} \\
 \hline
 \boxed{8} \boxed{6}
 \end{array}$$

4も正解

③

$$\begin{array}{r}
 11 \\
 \times 6 \\
 \hline
 \boxed{6} \boxed{6}
 \end{array}$$

④

$$\begin{array}{r}
 13 \\
 \times 3 \\
 \hline
 \boxed{3} \boxed{9}
 \end{array}$$

⑤

$$\begin{array}{r}
 22 \\
 \times 4 \\
 \hline
 \boxed{8} \boxed{8}
 \end{array}$$

10 かけ算の筆算 ③

名前

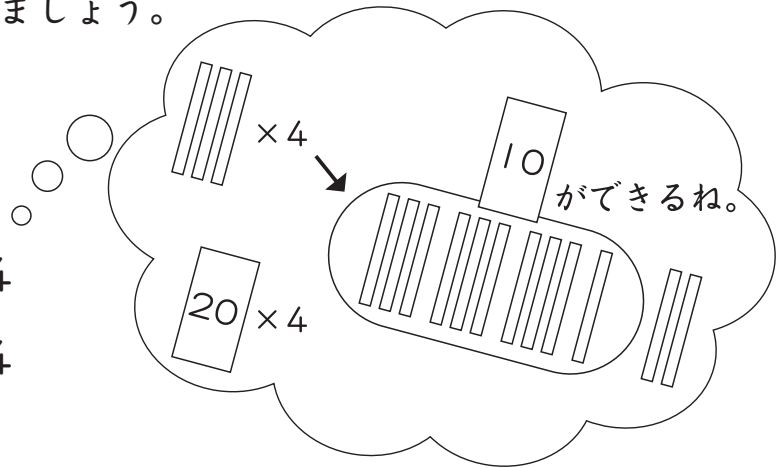
ねらい 2位数×1位数で十の位に繰り上がる乗法の計算ができる。

① 23×4 の筆算のしかたを考えます。

① □にあてはまる数を書きましょう。

$$\begin{array}{r}
 23 \\
 \times 4 \\
 \hline
 12 \\
 80 \\
 \hline
 92
 \end{array}$$

$12 \rightarrow \boxed{3} \times 4$
 $80 \rightarrow \boxed{20} \times 4$

② 23×4 を筆算で計算をしましょう。

	2	3
×		4
	9	2

② □にあてはまる数を書きましょう。

①

$$\begin{array}{r}
 29 \\
 \times 2 \\
 \hline
 18 \dots\dots 9 \times 2 \\
 4 \dots\dots 20 \times 2 \\
 \hline
 58
 \end{array}$$

2も正解

②

$$\begin{array}{r}
 37 \\
 \times 2 \\
 \hline
 14 \dots\dots 7 \times 2 \\
 6 \dots\dots 30 \times 2 \\
 \hline
 74
 \end{array}$$

3も正解

③

$$\begin{array}{r}
 13 \\
 \times 7 \\
 \hline
 91
 \end{array}$$

④

$$\begin{array}{r}
 45 \\
 \times 2 \\
 \hline
 90
 \end{array}$$

⑤

$$\begin{array}{r}
 28 \\
 \times 3 \\
 \hline
 84
 \end{array}$$

10 かけ算の筆算 ④

名前

ねらい 2位数×1位数で百の位に繰り上がる乗法の計算や途中の計算に0が出てくる乗法の計算ができる。

① □にあてはまる数を書きましょう。

①

$$\begin{array}{r}
 42 \\
 \times 4 \\
 \hline
 \boxed{8} \cdots \cdots \boxed{2} \times \boxed{4} \\
 \boxed{1} \boxed{6} \boxed{} \cdots \cdots \boxed{40} \times \boxed{4} \\
 \hline
 \boxed{1} \boxed{6} \boxed{8}
 \end{array}$$

4も正解

②

$$\begin{array}{r}
 34 \\
 \times 6 \\
 \hline
 \boxed{2} \boxed{4} \cdots \cdots \boxed{4} \times \boxed{6} \\
 \boxed{1} \boxed{8} \boxed{} \cdots \cdots \boxed{30} \times \boxed{6} \\
 \hline
 \boxed{2} \boxed{0} \boxed{4}
 \end{array}$$

3も正解

② 計算をしましょう。

①		4	3		②		3	1		③		7	8	
	×		3			×		7			×		3	
		1	2	9			2	1	7			2	3	4
④		9	8		⑤		6	5		⑥		8	6	
	×		9			×		8			×		5	
		8	8	2			5	2	0			4	3	0
⑦		6	7		⑧		7	6		⑨		7	5	
	×		6			×		8			×		4	
		4	0	2			6	0	8			3	0	0

10 かけ算の筆算 ⑤

名前

ねらい 3位数×1位数の乗法の計算を理解し、筆算ができる。

① □にあてはまる数を書きましょう。

①

213×3

$200 \times 3 =$ 600
 $10 \times 3 =$ 30
 $3 \times 3 =$ 9

$\left. \begin{array}{l} 600 \\ 30 \\ 9 \end{array} \right\}$ あわせて
639

②

$$\begin{array}{r} 213 \\ \times 3 \\ \hline \end{array}$$

$\begin{array}{l} \boxed{9} \dots\dots \boxed{3} \times \boxed{3} \\ \boxed{3} \text{ } \dots\dots \boxed{10} \times \boxed{3} \\ \boxed{6} \text{ } \dots\dots \boxed{200} \times \boxed{3} \end{array}$

1×3も正解

2×3も正解

$$\begin{array}{r} \boxed{6} \boxed{3} \boxed{9} \\ \hline \end{array}$$

③

$$\begin{array}{r} 213 \\ \times 3 \\ \hline \end{array}$$

$\boxed{6} \boxed{3} \boxed{9}$

② 計算をしましょう。

①		1	3	2		②		4	1	2		③		2	2	1
	×			3			×			2			×			4
		3	9	6				8	2	4				8	8	4
④		4	2	2		⑤		2	3	3		⑥		3	4	4
	×			2			×			3			×			2
		8	4	4				6	9	9				6	8	8

10 かけ算の筆算 ⑥

名前

ねらい 3位数×1位数で繰り上がりのある乗法の計算ができる。

① 計算をしましょう。

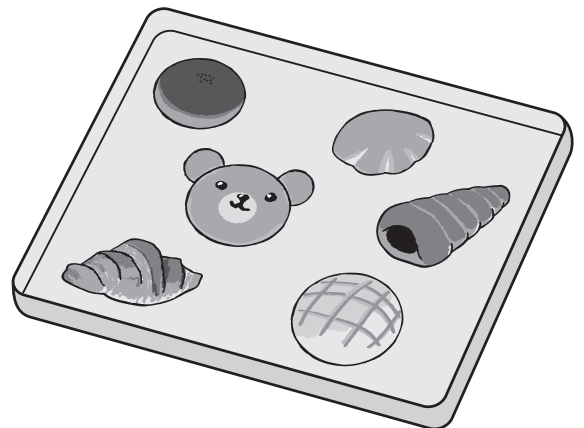
①		1	2	3		②		3	2	5		③		2	5	1
	×			4			×			3			×			3
		4	9	2				9	7	5				7	5	3
④		1	3	2		⑤		1	3	8		⑥		1	8	3
	×			4			×			3			×			5
		5	2	8				4	1	4				9	1	5
⑦		1	3	7		⑧		1	7	8		⑨		2	6	8
	×			6			×			4			×			3
		8	2	2				7	1	2				8	0	4

② 1こ135円のパンを6こ買います。

だいきん
代金は何円になるでしょうか。

$$\text{〈式〉 } 135 \times 6 = 810$$

答え 810円



10 かけ算の筆算 ⑦

名前

ねらい 3位数×1位数で千の位に繰り上がる乗法の計算、3位数×1位数＝4位数の乗法の計算ができる。

① 計算をしましょう。

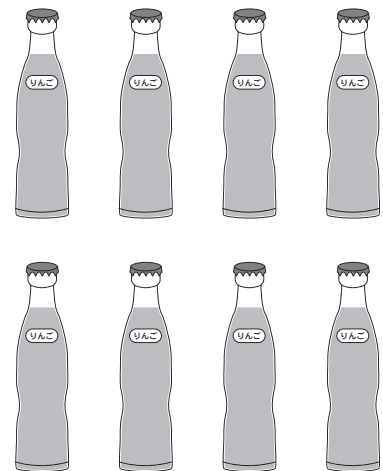
①	3	1	2	②	5	2	3	③	4	2	3
×			4	×			3	×			4
1	2	4	8	1	5	6	9	1	6	9	2
④	6	1	5	⑤	7	5	2	⑥	4	3	1
×			3	×			4	×			5
1	8	4	5	3	0	0	8	2	1	5	5
⑦	3	5	8	⑧	4	7	5	⑨	9	2	5
×			3	×			4	×			8
1	0	7	4	1	9	0	0	7	4	0	0

② 1本148円のジュースを8本買います。

だいきん
代金は何円になるでしょうか。

$$\langle \text{式} \rangle \quad 148 \times 8 = 1184$$

答え 1184円



10 かけ算の筆算 ⑧

名前

ねらい 3位数×1位数＝4位数で空位がある乗法の計算ができる。

① 計算をしましょう。

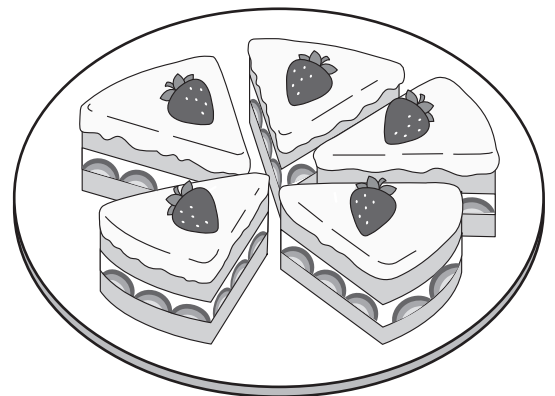
①		4	0	2		②		2	0	7		③		5	0	3	
	×			6			×			8			×			7	
		2	4	1	2			1	6	5	6			3	5	2	1
④		7	0	6		⑤		4	3	0		⑥		7	7	0	
	×			7			×			6			×			4	
		4	9	4	2			2	5	8	0			3	0	8	0
⑦		6	9	0		⑧		3	8	0		⑨		7	5	0	
	×			3			×			5			×			8	
		2	0	7	0			1	9	0	0			6	0	0	0

② 1こ280円のケーキを5こ買います。

だいきん
代金は何円になるでしょうか。

$$\langle \text{式} \rangle \quad 280 \times 5 = 1400$$

答え 1400円

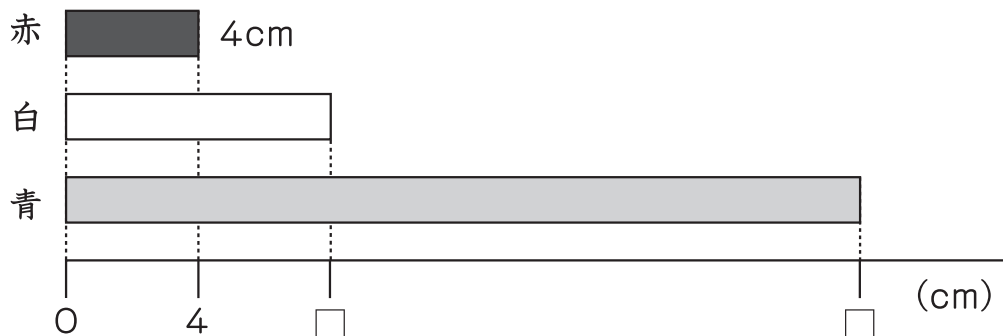


10 かけ算の筆算 ⑨

名前

ねらい 倍に関わる問題についてテープ図などを用いて数量の関係を捉え、倍概念の理解を深める。

- ① 赤いリボンの長さは4cmです。
 白いリボンの長さは、赤いリボンの長さの2^{ばい}倍です。
 青いリボンの長さは、白いリボンの長さの3倍です。



- ① 白いリボンの長さは何cmでしょうか。

〈式〉 $4 \times 2 = 8$

答え 8 cm

- ② 青いリボンの長さは何cmでしょうか。

〈式〉 $4 \times 2 \times 3 = 24$

$(8 \times 3 = 24)$

答え 24 cm

- ③ 青いリボンの長さは、赤いリボンの長さの何倍でしょうか。

〈式〉 $24 \div 4 = 6$

または $2 \times 3 = 6$

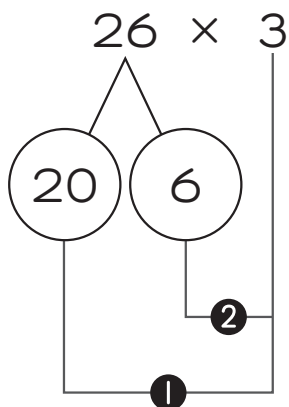
答え 6 倍

10 かけ算の筆算 ⑩

名前

ねらい 乗法の暗算ができる。

- ① 26×3 の計算のしかたを、^{ひっさん}筆算を使わずに^{つか}暗算のしかたを考えましょう。

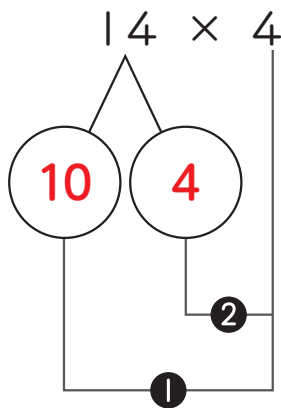


上の位から計算して…。

①	$20 \times 3 =$	60
②	$6 \times 3 =$	18
	あわせて	78

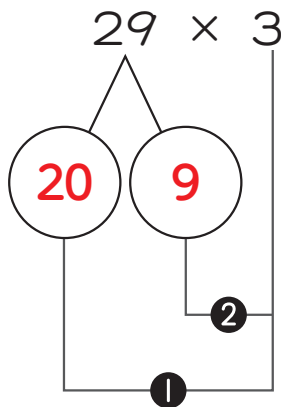
- ① 上の□にあてはまる数を書きましょう。

- ② 14×4 を暗算でします。○と□にあてはまる数を書きましょう。



①	10	$\times 4 =$	40
②	4	$\times 4 =$	16
	あわせて		56

- ③ 29×3 を暗算でします。○と□にあてはまる数を書きましょう。



①	20	$\times 3 =$	60
②	9	$\times 3 =$	27
	あわせて		87

かけ算の筆算 (学んだことを使おう) ⑪

名前

ねらい 4位数×1位数の計算の仕方を3位数×1位数の計算をもとに発展的に考えることができる。

① □の中にあてはまる数を書きましょう。

① $5 \times 3 = 15$

↓ 1000倍 ↓ 1000倍

$5000 \times 3 = \boxed{15000}$

② $5000 \times 3 = \boxed{15000}$

③

	3	4	1	2	
×				4	
<hr/>					
				8 2×4
			4	○ 10×4
	1	6	○	○ 400×4
1	2	○	○	○ 3000×4
<hr/>					
1	3	6	4	8	

④

	3	4	1	2	
×				4	
<hr/>					
1	3	6	4	8	

⑤

	6	0	0	0	
×				7	
<hr/>					
4	2	0	0	0	

② 計算をしましょう。

①		②		③																																																										
<table border="0"> <tr><td></td><td>6</td><td>7</td><td>0</td><td>5</td></tr> <tr><td>×</td><td></td><td></td><td></td><td>3</td></tr> <tr><td colspan="5"><hr/></td></tr> <tr><td>2</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td><td>5</td></tr> </table>		6	7	0	5	×				3	<hr/>					2	0	1	1	5	<table border="0"> <tr><td></td><td>4</td><td>5</td><td>9</td><td>8</td></tr> <tr><td>×</td><td></td><td></td><td></td><td>6</td></tr> <tr><td colspan="5"><hr/></td></tr> <tr><td>2</td><td>7</td><td>5</td><td>8</td><td>8</td></tr> </table>		4	5	9	8	×				6	<hr/>					2	7	5	8	8	<table border="0"> <tr><td></td><td>6</td><td>7</td><td>3</td><td>4</td></tr> <tr><td>×</td><td></td><td></td><td></td><td>5</td></tr> <tr><td colspan="5"><hr/></td></tr> <tr><td>3</td><td>3</td><td>6</td><td>7</td><td>0</td></tr> </table>		6	7	3	4	×				5	<hr/>					3	3	6	7	0
	6	7	0	5																																																										
×				3																																																										
<hr/>																																																														
2	0	1	1	5																																																										
	4	5	9	8																																																										
×				6																																																										
<hr/>																																																														
2	7	5	8	8																																																										
	6	7	3	4																																																										
×				5																																																										
<hr/>																																																														
3	3	6	7	0																																																										

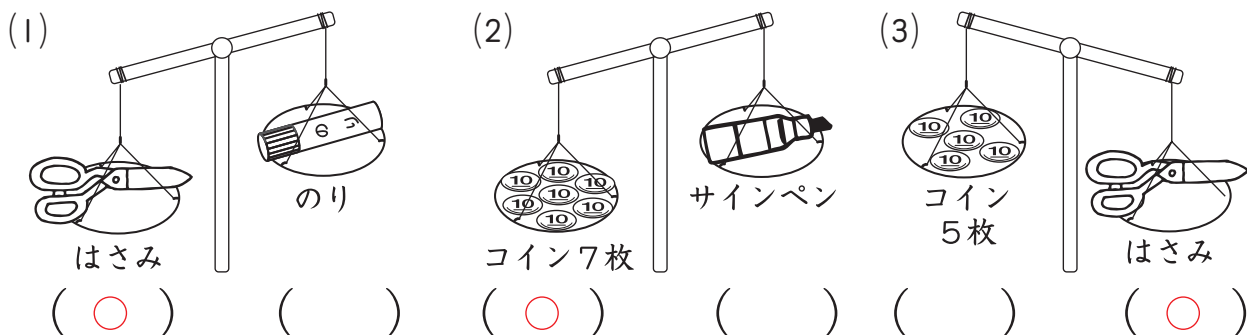
11 重さ ①

名前

ねらい 重さの意味、重さの比べ方、重さの単位「g」を理解する。(2時間)

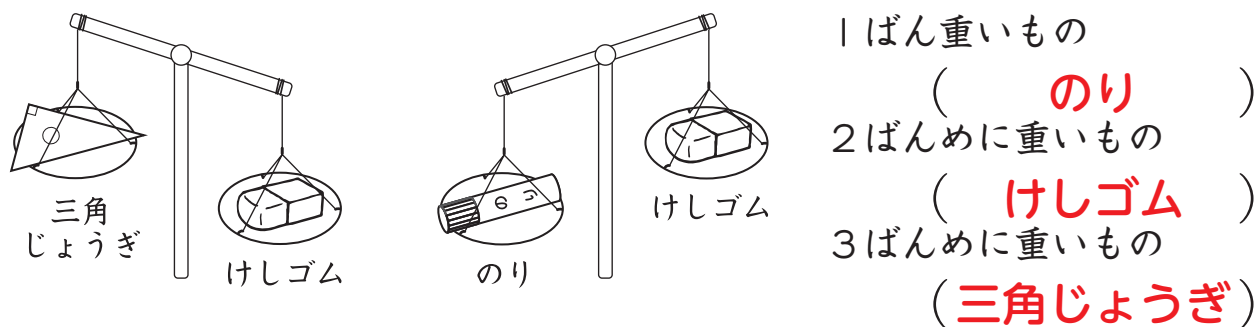
I おも 重さくらべをしました。

① 重いほうに○をつけましょう。



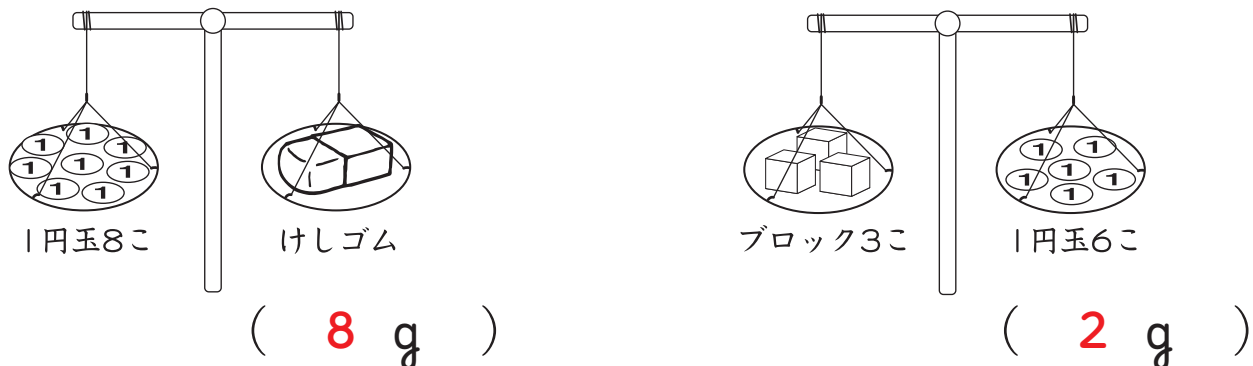
② のり、けしゴム、三角じょうぎの重さをくらべました。

重いじゅんに () に書きましょう。



2 1円玉は1こが1gです。

① けしゴムの重さは何gでしょうか。 ② ブロック1この重さは何gでしょうか。



③ 1円玉50この重さは何gでしょうか。 ④ gを正しく書きましょう。

(50 g)

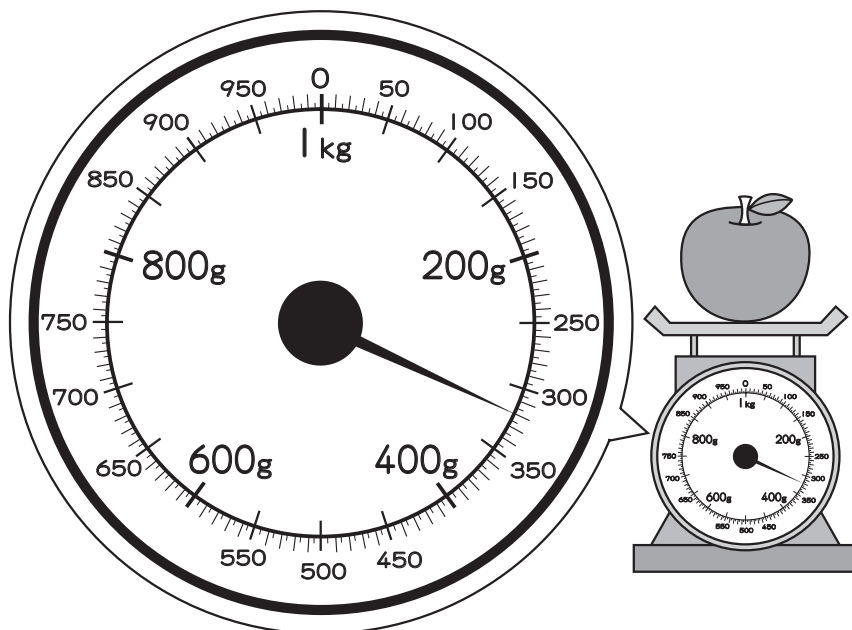


11 重さ ②

名前

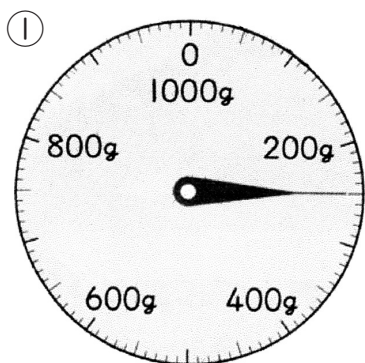
ねらい はかりの機能と使い方を理解する。

① 下のはかりを見て、答えましょう。

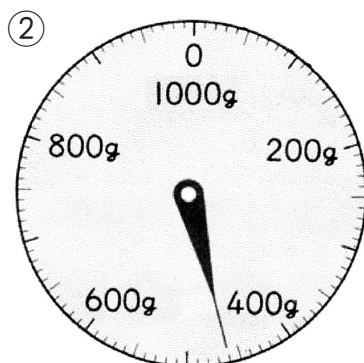


- ① いちばん小さいめもりは、何^{あらわ}gを表しているでしょうか。 5 g
- ② はかる前に、はりが 0 をさしていることをたしかめます。
- ③ りんごの重さをはかりました。何gでしょうか。 320 g

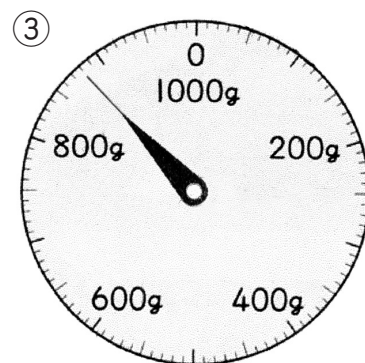
② 重さは何gでしょうか。



(250 g)



(460 g)



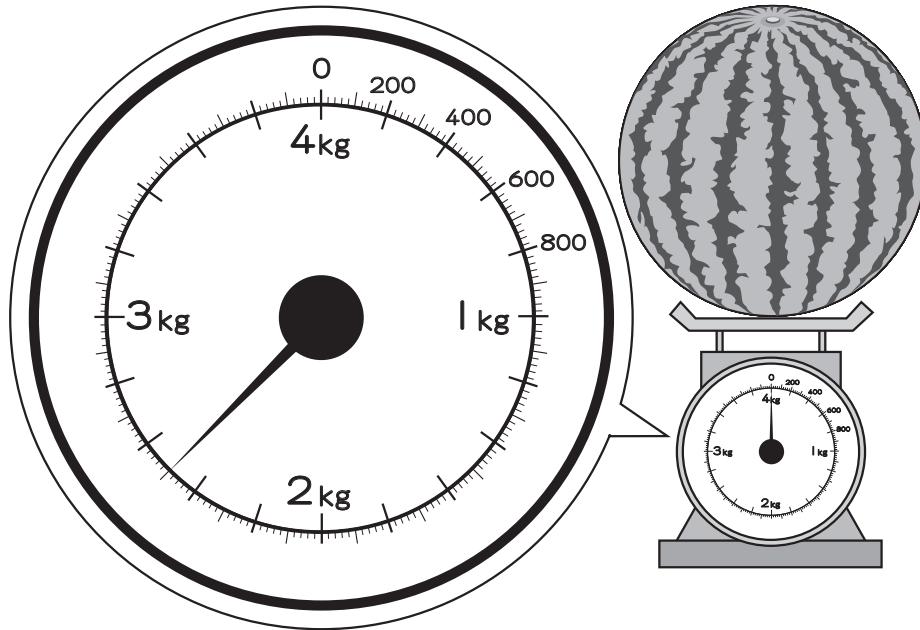
(880 g)

11 重さ ③

名前

ねらい 重さの単位「kg」と単位の間係を理解する。

1 下のはかりを見て、答えましょう。

① このはかりは、何kgまではかれるでしょうか。 kg② いちばん小さいめもりは何g^{あらわ}を表しているでしょうか。 g③ スイカの重さ^{おも}をはかりました。重さはどれだけでしょうか。 kg g④ スイカの重さは、2kgより何g重いでしょうか。 g

2 □にあてはまる数を書きましょう。

3 kgを正しく書きましょう。

① 1kg = g② 2000g = kg③ 1500g = kg g④ 3kg100g = g

kg kg kg kg

ねらい 身の回りのものの重さを、およその見当を付け、測定することができる。

- Ⅰ たかしさんとあやのさんが、いろいろな^{もの}物の^{おも}重さをはかりました。
 どれがどの重さかを予想して、記号を○でかこみましょう。

たかしさん

私はお金の重さを^{しら}調べました。

- ① 1円玉………(ア 1g イ 1gより少し軽い)
 ② 5円玉………(ア 3g イ 3gより少し重い) ※3.75g
 ③ 10円玉………(ア 4g イ 4gより少し重い) ※4.5g
 ④ 50円玉………(ア 4g イ 4gより少し重い)
 ⑤ 100円玉………(ア 5g イ 5gより少し軽い) ※4.8g
 ⑥ 500円玉………(ア 7g イ 7gより少し重い)

あやのさん

私は自分の持ち物^もを調べました。

- ① けしゴム………(ア 15g イ 40gより少し軽い)
 ② はさみ………(ア 5g イ 40gより少し軽い)
 ③ 算数のノート………(ア 80gより少し重い イ 130gより少し軽い)
 ④ 算数の教科書………(ア 100gより少し重い イ 250gより少し軽い)

ねらい 重さについても加法性が成り立つことを理解する。

- ① ^{おも}重さ200gのかごに3kgの^{くだもの}を入れて、重さをはかりました。
^{ぜんたい}全体の重さは、どれだけでしょうか。

〈式〉 $200\text{g} + 3\text{kg} = 3\text{kg}200\text{g}$

答え $3\text{kg}200\text{g}$

- ② 重さ150gの^{はこ}箱に、700gの^{なし}を入れて、重さをはかりました。
 全体の重さは、どれだけでしょうか。

〈式〉 $150\text{g} + 700\text{g} = 850\text{g}$

答え 850g

- ③ 重さ500gの箱に、900gの^{にもつ}荷物を入れました。
 全体の重さは、何kg何gでしょうか。

〈式〉 $500\text{g} + 900\text{g} = 1400\text{g}$
 $1400\text{g} = 1\text{kg}400\text{g}$

答え $1\text{kg}400\text{g}$

- ④ じゅんさんと、のぞみさんが、いっしょにはかりにのったら、51kgでした。
 のぞみさんがおりると、26kgになりました。
 のぞみさんの^{たいじゅう}体重は何kgでしょうか。

〈式〉 $51\text{kg} - 26\text{kg} = 25\text{kg}$

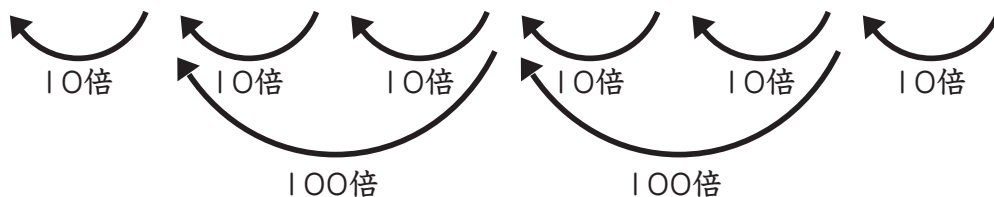
答え 25kg

ねらい 重さ、長さ、かさの単位を統合的に理解する。重さの単位「t」を理解する。

① 重さや長さ、水のかさについて、表にまとめました。

表に1 kg、1 cm、1 mm、1 km、1 dL、1 mLを書きましょう。

	キロ k				デシ d	センチ c	ミリ m
重さ	1 kg	(100g)	(10g)	1 g			(1 mg)
長さ	1 km	(100m)	(10m)	1 m		1 cm	1 mm
かさ	1 kL	(100L)	(10L)	1 L	1 dL		1 mL



② □にあてはまる数を書きましょう。

① 1 km = 1000 m

② 1 m = 1000 mm

③ 1 kg = 1000 g

④ 1 L = 1000 mL

⑤ 1 g = 1000 mg

⑥ 1 kL = 1000 L

③ kgより大きい重さの単位にトンがあります。1 トンは1 tと書きます。

① □にあてはまる数を書きましょう。

1 t = 1000 kg

② tを正しく書きましょう。

①
② t t t t


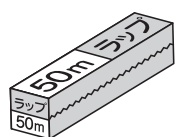



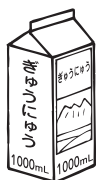
11 重さ
(学んだことを使おう) ⑦

名前

ねらい 身の回りのものの重さ、長さ、かさについて、およその見当をつけ、測定することができる。

- Ⅰ あやのさんが身のまわりから、いろいろな単位を見つけました。
□にあてはまる単位を書きましょう。

発見した身のまわりの単位

	キロ k		デシ d	センチ c	ミリ m
重さ	お米  5 kg				
長さ		ラップ  50 m		おり紙  15 cm	セロハンテープ  18 mm
かさ		ゴミぶくろ  45 L			牛にゅうパック  1000 mL

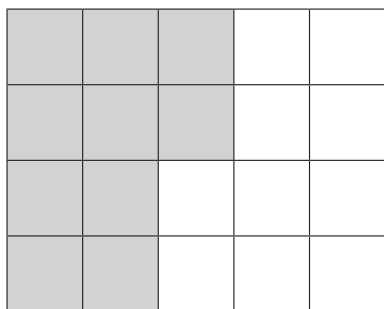
★ 算数ワールド
 $\frac{1}{2}$ に分けよう

名
前

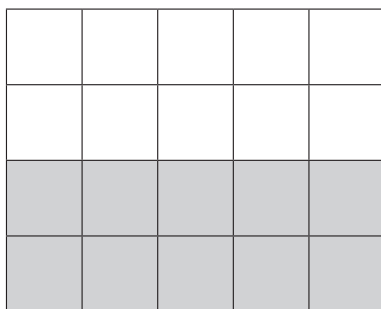
ねらい $\frac{1}{2}$ の大きさを方眼のます目の個数に着目してとらえることで、分数についての理解を深める。

- ① 下の㊦～㊦から20このますめの $\frac{1}{2}$ に色がぬられているものをすべてえらんで、() に記号^{きごう}を書きましょう。

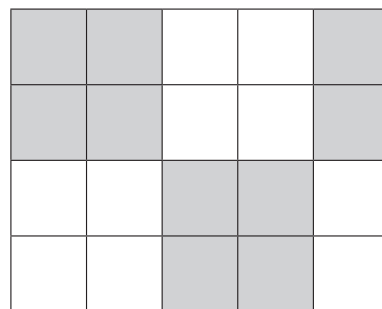
㊦



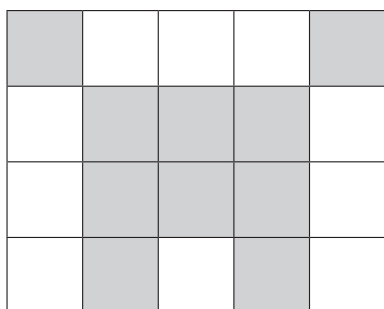
㊦



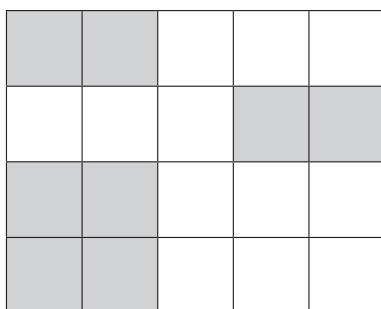
㊦



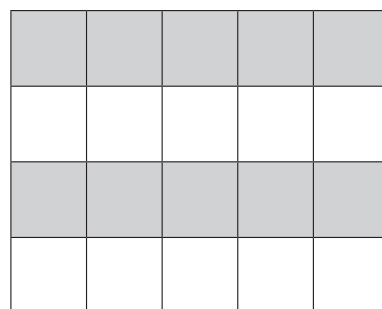
㊦



㊦



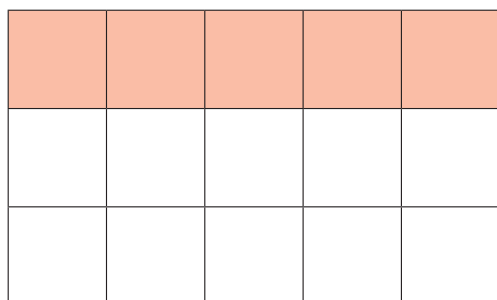
㊦



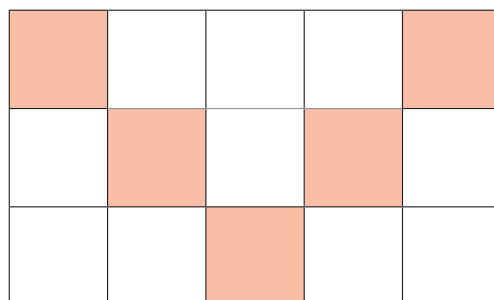
(㊦、㊦、㊦、㊦、㊦)

- ② 下のように15このますめがあります。
 このますめの数の $\frac{1}{3}$ になるように色をぬりましょう。2つ考えましょう。

(例)



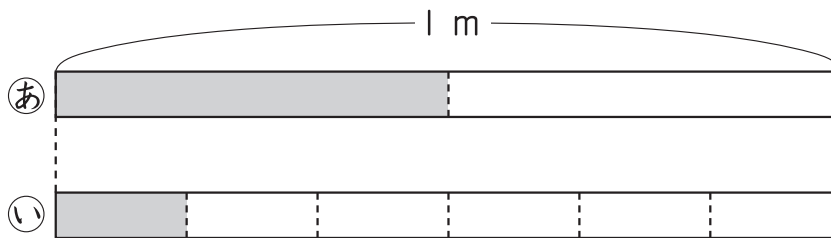
(例)



ねらい

測定したときの量の大きさを表す分数（量分数）について理解する。

- ① 色をぬった長さは、何mでしょうか。



②あ

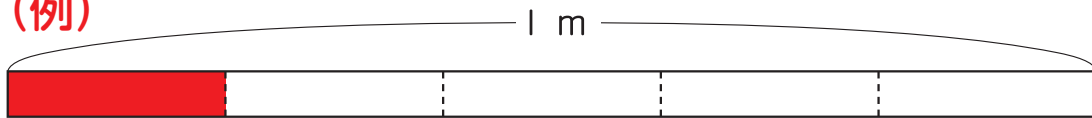
$$\frac{1}{2} \text{ m}$$

②い

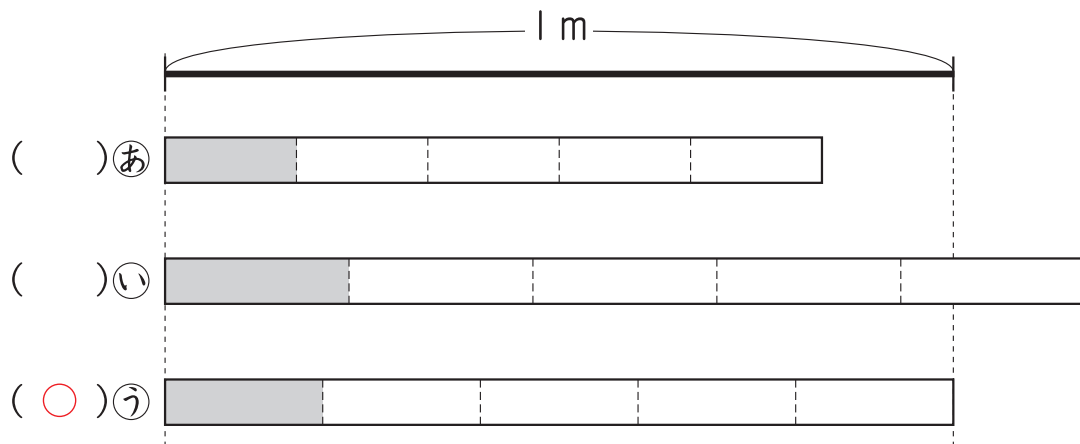
$$\frac{1}{6} \text{ m}$$

- ② $\frac{1}{5}$ mだけ色をぬりましょう。

(例)



- ③ 色をぬった長さが $\frac{1}{5}$ mになっているものに、○をつけましょう。



ねらい 量分数の意味と表し方、「分母」「分子」の用語を理解する。

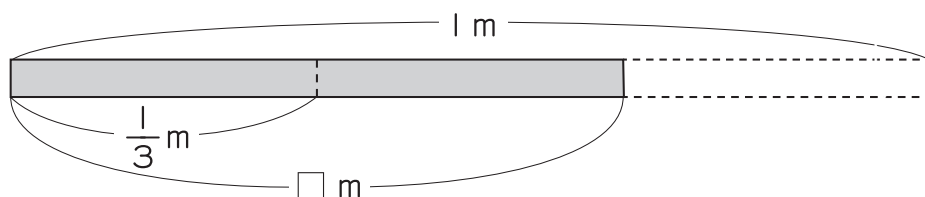
- ① $\frac{3}{4}$ mの分数について、() にあてはまることばを、□にはあてはまる数を書きましょう。

$\frac{3}{4}$ → (分子) という。

$\frac{3}{4}$ → (分母) という。

$\frac{3}{4}$ mは、1 mを □ 等分した大きさの □ 分の数。

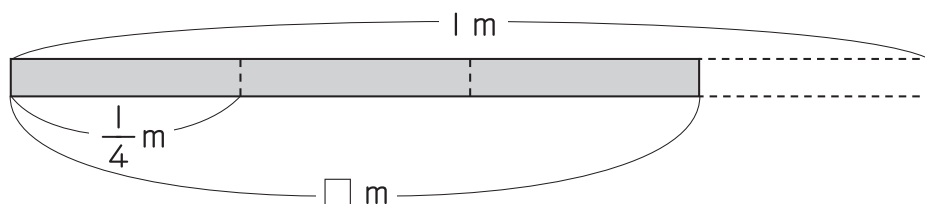
- ② 下のテープの長さは、 $\frac{1}{3}$ mのいくつ分でしょうか。
また、それは何mといえましょうか。



$\frac{1}{3}$ mの □ 分

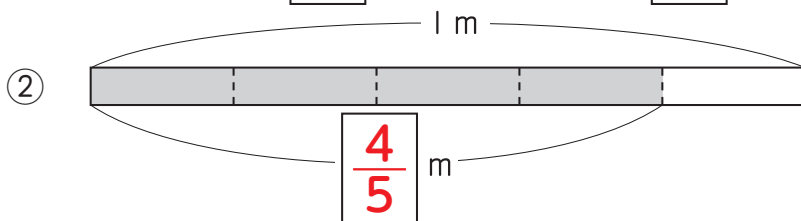
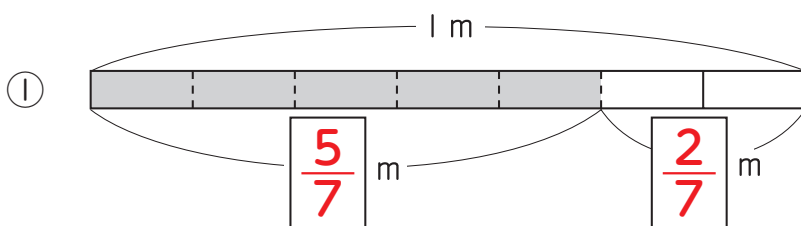
$\frac{2}{3}$ m

- ③ 下のテープの長さは、何mでしょうか。



$\frac{3}{4}$ m

- ④ □にあてはまる数を書きましょう。

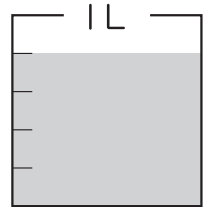


ねらい かさを分数で表すことを通して、量分数の意味と表し方の理解を深める。

① 水を1リットルますに入れたら、右の図のようになりました。

□にあてはまる数を書きましょう。

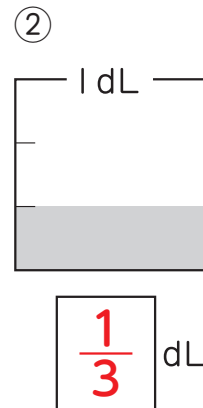
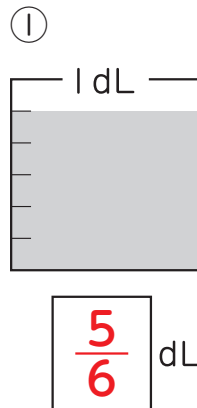
① 右の図の1めもりは $\frac{1}{5}$ L^{あらわ}を表している。



② 水のかさは何Lでしょうか。

1 Lを 5 ^{どうぶん}等分した 4 ぶんのかさで $\frac{4}{5}$ L。

② 右の水のかさは、
それぞれ何dLでしょうか。



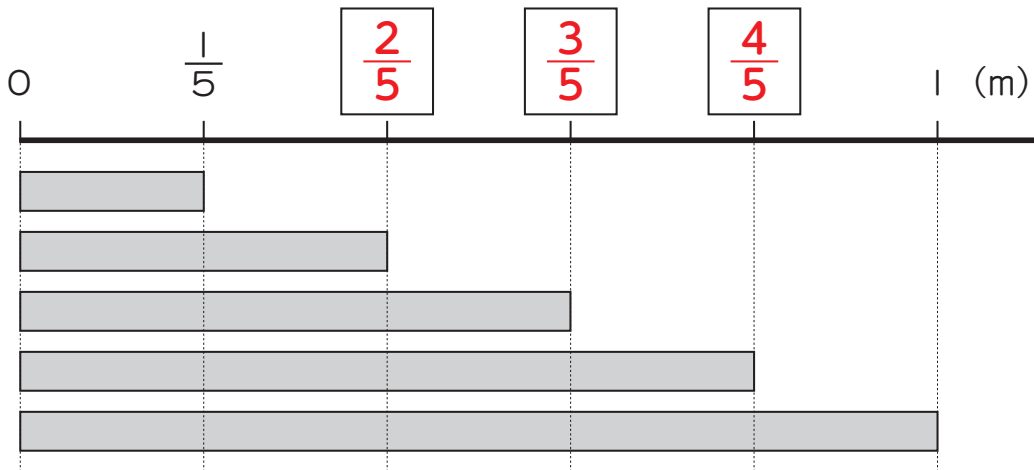
③ □にあてはまる数を書きましょう。

① $\frac{3}{4}$ Lは $\frac{1}{4}$ Lを 3 こあつめたかさです。

② $\frac{4}{9}$ Lは1 Lを 9 等分した 4 ぶんのかさです。

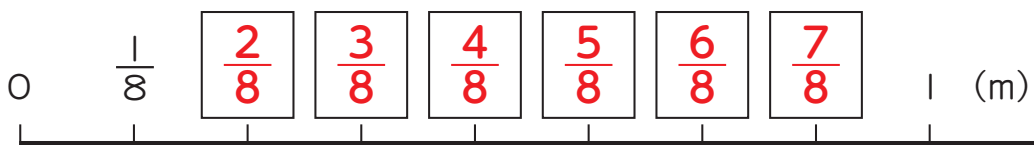
ねらい 単位分数をもとにした分数の大きさを理解する。

- ① 下の文の () にあてはまることばを、
□にはあてはまる数を書きましょう。

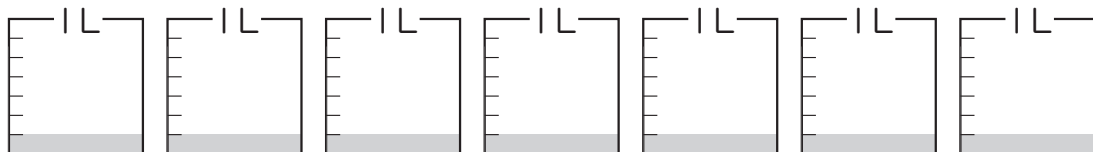


分母と分子が (同じ) 数のときは、 1 になります。

- ② 下の□の中にあてはまる分数を書きましょう。



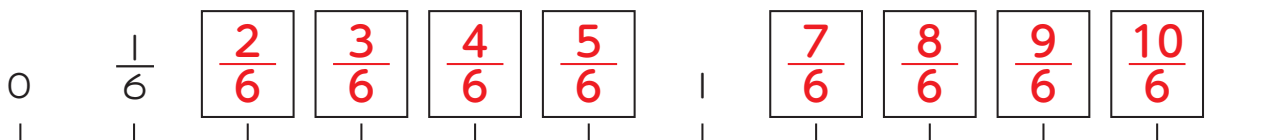
- ③ $\frac{1}{7}$ Lの7こ分のかさは何Lでしょうか。



答え 1 L ($\frac{7}{7}$ L)

ねらい 同分母分数の大小について理解し、1より大きい分数があることを理解する。

① 下の数直線に分母が6の分数を表して、分数の大きさを調べましょう。



① $\frac{4}{6}$ と $\frac{5}{6}$ では、どちらの数が大きいですか。

$\frac{5}{6}$

② $\frac{1}{6}$ の11こ分、12こ分の大きさの分数は、
それぞれどのように表せばよいですか。

$\frac{11}{6}$

$\frac{12}{6}$

③ $\frac{5}{6}$ は1より、どれだけ小さい数ですか。

$\frac{1}{6}$

④ $\frac{5}{6}$ は $\frac{2}{6}$ より、どれだけ大きい数ですか。

$\frac{3}{6}$

⑤ $\frac{5}{6}$ より $\frac{3}{6}$ 大きい数は、どんな数ですか。

$\frac{8}{6}$

② 数の大きさをくらべて、□に等号か不等号を書きましょう。

① $\frac{4}{5} > \frac{3}{5}$

② $\frac{4}{9} < \frac{8}{9}$

③ $\frac{12}{9} > \frac{11}{9}$

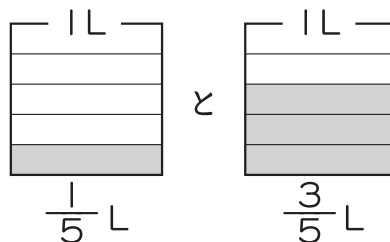
④ $1 = \frac{8}{8}$

ねらい 簡単な分数の加法の計算を理解する。

- ① 牛にゆうが $\frac{1}{5}$ L入ったびんと、 $\frac{3}{5}$ L入ったびんがあります。
2つのびんの牛にゆうをあわせると、何Lになるでしょうか。

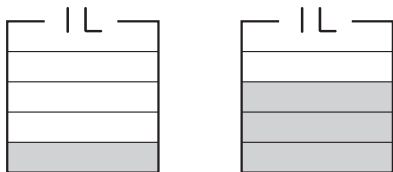
- ① ^{しき}式を書きましょう。

$$\frac{1}{5} + \frac{3}{5}$$



- ② けんじさんとゆみさんの2人が、それぞれ計算のしかたを考えています。
□にあてはまる数を書きましょう。

けんじさん



$\frac{1}{5}$ Lは $\frac{1}{5}$ Lが 1 に分

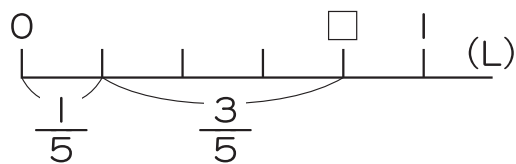
$\frac{3}{5}$ Lは $\frac{1}{5}$ Lが 3 分です。

あわせると $\frac{1}{5}$ Lが

$$\boxed{1} + \boxed{3} = \boxed{4}$$

答えは $\frac{4}{5}$ Lになります。

ゆみさん



□にあてはまる数は、

$\frac{1}{5}$ Lが 4 つ分で

答えは $\frac{4}{5}$ Lになります。

ねらい 簡単な分数の加法の計算（和が1になる場合）を理解する。

- ① リボンを2つに切ったら、 $\frac{5}{8}$ mと $\frac{3}{8}$ mに分けられました。

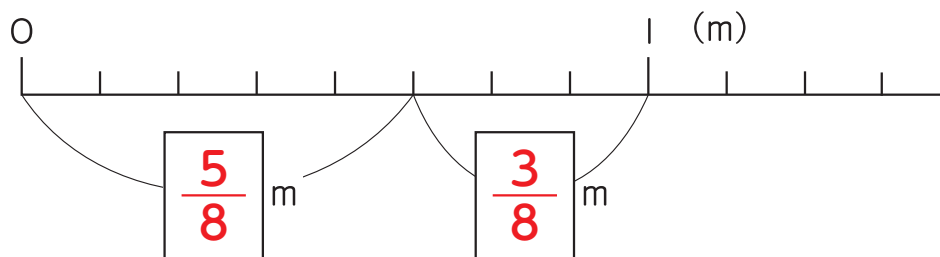
- ① はじめのリボンの長さは、何mでしょうか。

〈式〉

$$\frac{5}{8} + \frac{3}{8} = \frac{8}{8} = 1$$

答え 1 m

- ② □にあてはまる数を書きましょう。



- ② □にあてはまる数を書きましょう。

$$\begin{aligned} \textcircled{1} \quad \frac{3}{5} + \frac{2}{5} &= \frac{\boxed{5}}{\boxed{5}} \\ &= \boxed{1} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \textcircled{2} \quad \frac{4}{7} + \frac{3}{7} &= \frac{\boxed{7}}{\boxed{7}} \\ &= \boxed{1} \end{aligned}$$

- ③ 次の計算をしましょう。

$$\textcircled{1} \quad \frac{1}{7} + \frac{4}{7} = \frac{5}{7}$$

$$\textcircled{2} \quad \frac{3}{6} + \frac{2}{6} = \frac{5}{6}$$

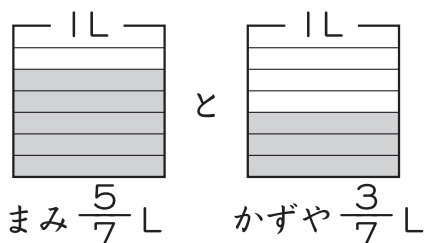
$$\textcircled{3} \quad \frac{3}{8} + \frac{5}{8} = \frac{8}{8} (1)$$

$$\textcircled{4} \quad \frac{7}{10} + \frac{3}{10} = \frac{10}{10} (1)$$

ねらい 簡単な分数の減法の計算を理解する。(1から真分数を引く場合も扱う)

- ① まみさんの水とうには、お茶が $\frac{5}{7}$ L入っています。
かずやさんの水とうには、お茶が $\frac{3}{7}$ L入っていました。
ちがいは何Lでしょうか。

〈図〉



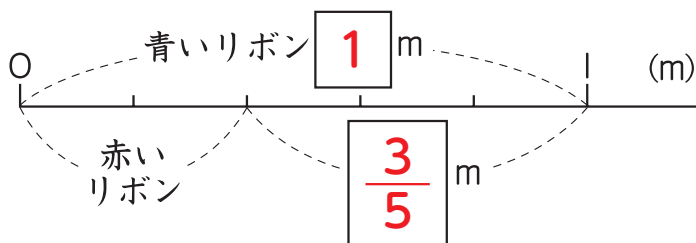
〈式〉

$$\frac{5}{7} - \frac{3}{7} = \frac{2}{7}$$

答え $\frac{2}{7}$ L

- ② 1mの青いリボンがあります。赤いリボンは、青いリボンより $\frac{3}{5}$ m短いです。
赤いリボンは何mでしょうか。

〈図〉



〈式〉

$$1 - \frac{3}{5} = \frac{2}{5}$$

答え $\frac{2}{5}$ m

- ③ 次の計算をしましょう。

① $\frac{5}{8} - \frac{2}{8} = \frac{3}{8}$

② $\frac{6}{7} - \frac{3}{7} = \frac{3}{7}$

③ $\frac{7}{10} - \frac{4}{10} = \frac{3}{10}$

④ $\frac{5}{6} - \frac{1}{6} = \frac{4}{6}$

⑤ $1 - \frac{2}{3} = \frac{3}{3} - \frac{2}{3} = \frac{1}{3}$

⑥ $1 - \frac{7}{9} = \frac{9}{9} - \frac{7}{9} = \frac{2}{9}$

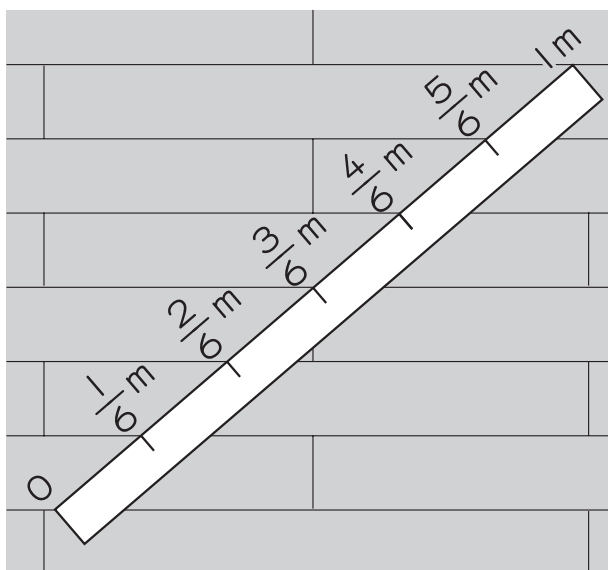
12 分数
(学んだことを使おう) ⑨

 名
前

ねらい 等幅の直線を使ってテープに分数の目盛をつける活動を通して量分数について理解を深める。

- ① 同じはばにならんだ直線を使^{つか}って、テープに $\frac{1}{6}$ m ずつのめもりをつけています。

どのようにつけているか、せつ明しましょう。



せつ明

(例)

同じはばにならんだ直線でテープを6等分するように、テープをななめにおく。そして、直線とテープが重なるところにめもりをつける。

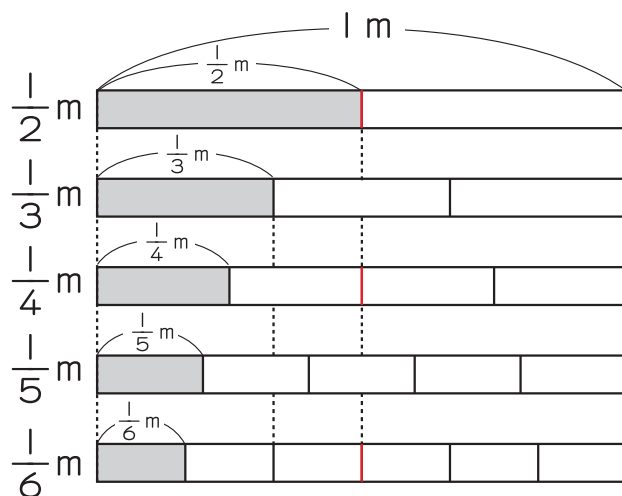
- ② 1めもりの長さが、 $\frac{1}{2}$ m、 $\frac{1}{3}$ m、 $\frac{1}{4}$ m……の分数のものさしをじゅんにならべてみました。

右の図を見て、気づいたことを書きましょう。

せつ明

(例)

- ・分母が大きくなると、1めもりの大きさは小さくなる。
- ・ $\frac{1}{2}$ mと $\frac{2}{4}$ m、 $\frac{3}{6}$ mが同じ長さになっている。

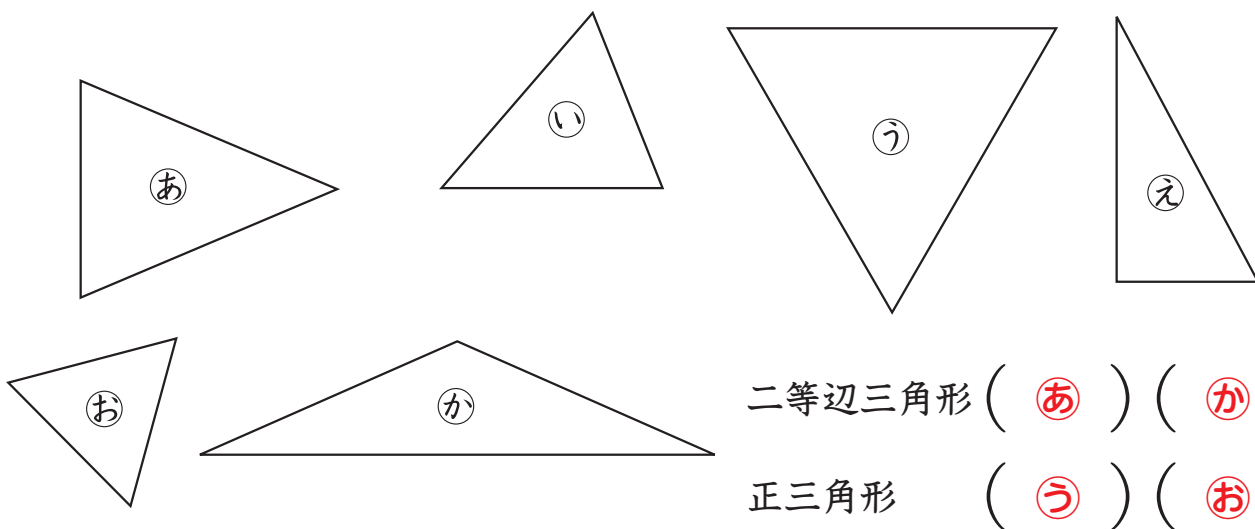


ねらい 二等辺三角形、正三角形の意味を理解する。(2時間)

- ① ^{へん} 辺の長さに目をつけて、三角形をなかま分けしました。
^{つぎ} 次の () にあてはまることばを書きましょう。

- ① 2つの辺の長さが等しい三角形を (**二等辺三角形**) といいます。
 ② 3つの辺の長さが等しい三角形を (**正三角形**) といいます。

- ② 下の図で、^{に どうへんさんかくけい} 二等辺三角形はどれでしょうか。
 また、^{せいさんかくけい} 正三角形はどれでしょうか。
 コンパスを^{つか}使って^{しら}調べましょう。



- ③ 2つの正三角形があります。

㊦の正三角形は、まわりの長さが18cmです。

㊩の正三角形は、まわりの長さが24cmです。

㊦と㊩では、1つの辺の長さはどちらが何cm長いでしょうか。

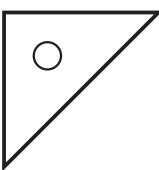

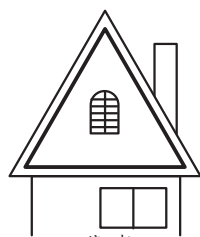
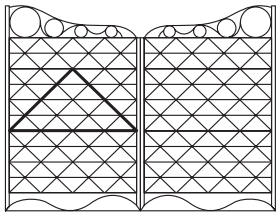


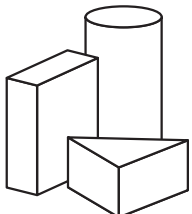
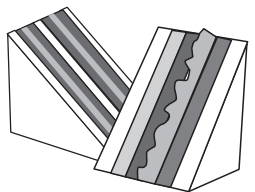
答え (**㊩**) のほうが (**2**) cm長い

13 三角形 ②

名前

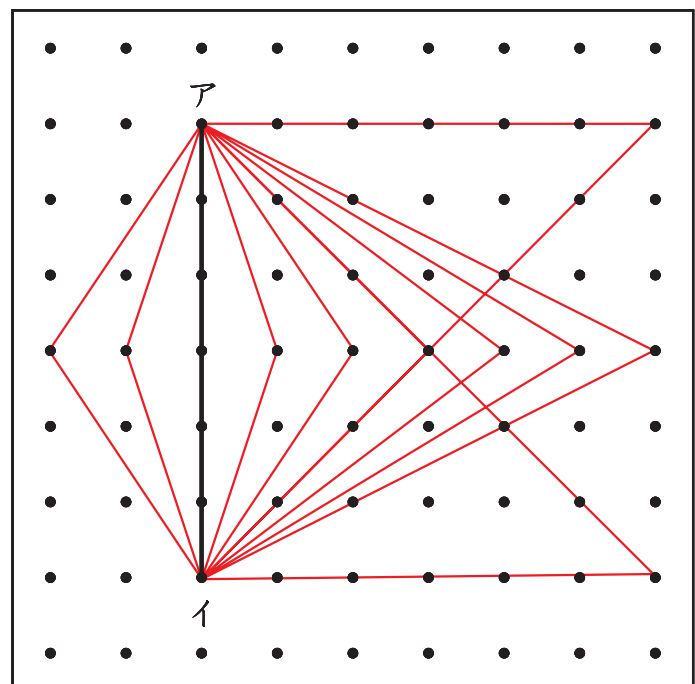
ねらい 二等辺三角形の性質と構成要素について理解を深める。

- Ⅰ 下の二等辺^{にとうへん}三角形や正三角形を見たことがありますか。
見たことのあるものの記号^{きごう}を○でかこみましょう。

<p>ア</p>  <p>(三角定規^{じょうぎ})</p>	<p>イ</p>  <p>(エアコンのリモコン)</p>	<p>ウ</p>  <p>(屋根^{やね})</p>	<p>エ</p>  <p>(門のとびら)</p>
<p>オ</p>  <p>(アルファベットのA)</p>	<p>カ</p>  <p>(道路のひょうしき)</p>	<p>キ</p>  <p>(積み木^{つみぎ})</p>	<p>ク</p>  <p>(サンドイッチ)</p>

(例)

- Ⅱ 右の図で、点アと点イ^{ちやうてん}を頂点として二等辺三角形をかきます。
あと1つ点をえらんで、二等辺三角形をかきます。二等辺三角形を5こかきましょう。



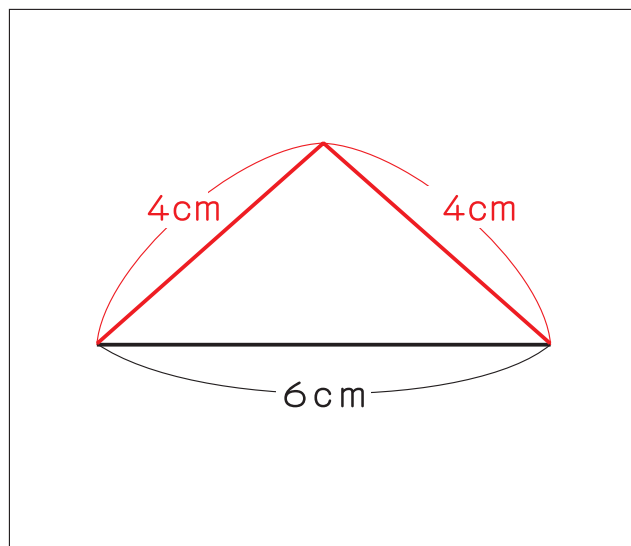
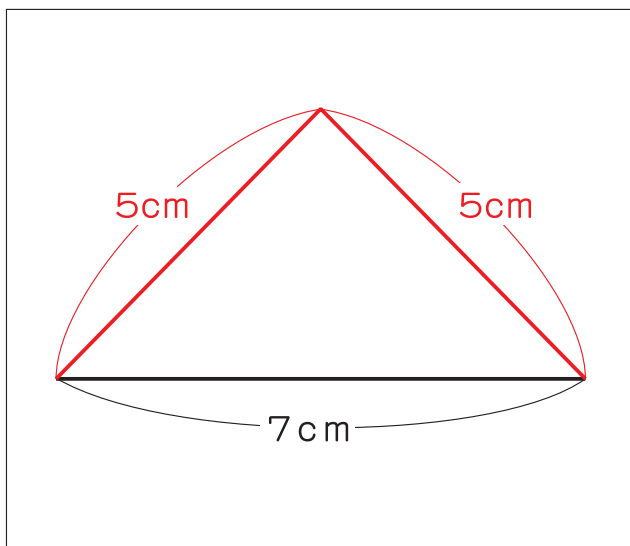
13 三角形 ③

名前

ねらい 二等辺三角形、正三角形の作図の仕方を考える。

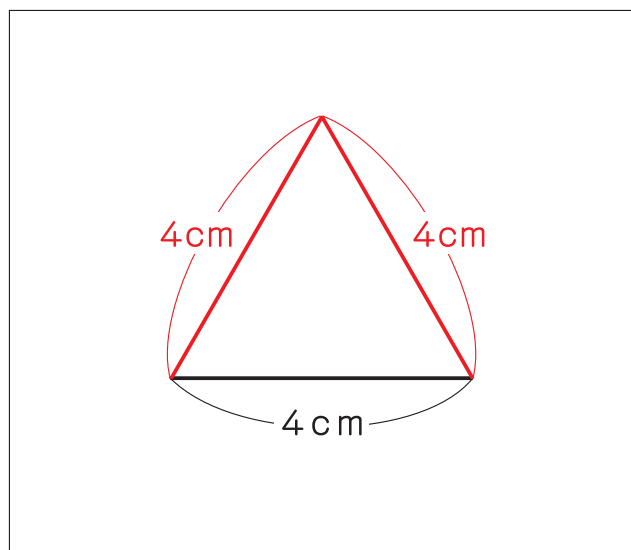
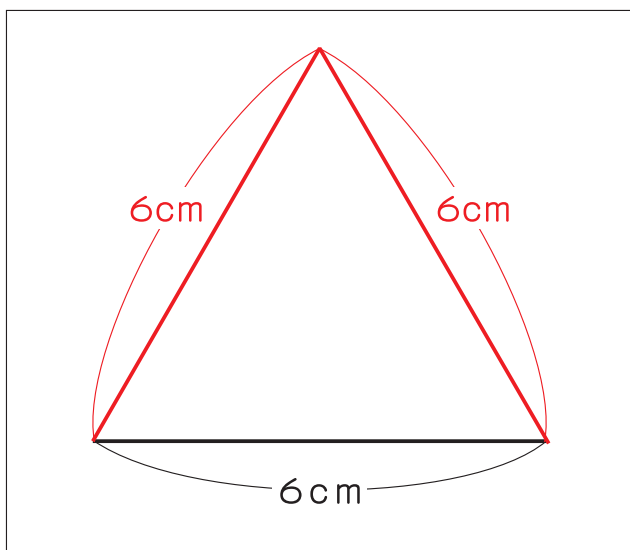
Ⅰ コンパスと定規を使って、二等辺三角形をかきましょう。

- ① ① 辺の長さが7 cm、5 cm、5 cm ② 辺の長さが4 cm、4 cm、6 cm



Ⅱ コンパスと定規を使って、正三角形をかきましょう。

- ① ① 1 辺の長さが6 cmの正三角形 ② 1 辺の長さが4 cmの正三角形

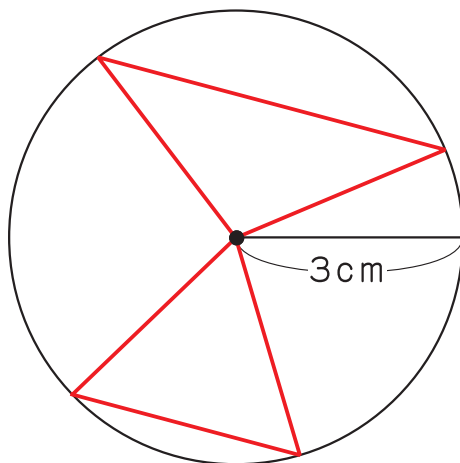


ねらい

二等辺三角形、正三角形の辺の相等について理解を深める。

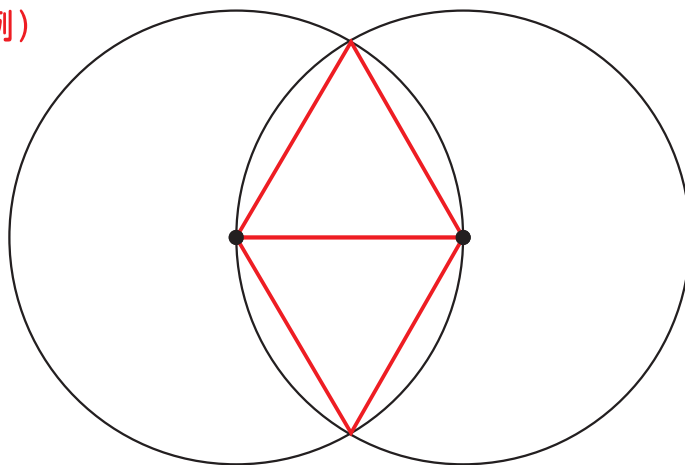
- ① 次の半径3cmの円を使って、二等辺三角形と正三角形をそれぞれ1つずつかきましょう。

(例)



- ② 下の半径が同じ長さの2つの円を使って、正三角形をかきましょう。

(例)



上でかいた三角形が正三角形になるわけをせつ明しましょう。

(例)

一辺の長さが円の半径の長さになり、3つの辺の長さが等しいので、正三角形になります。

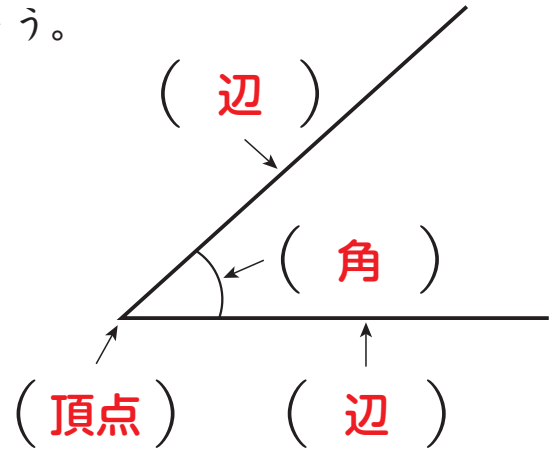
ねらい 図形の角の意味、性質を理解する。

① () の中にあてはまることばを書きましょう。

1つの頂点^{ちやうてん}から出ている2つの辺^{へん}が

作る形を(角)といいます。

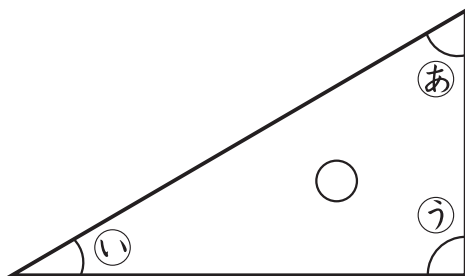
角の大きさは、(辺)の
ひら開きぐあい^きで決まります。



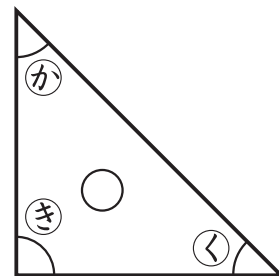
② 下の三角定規^{じやうぎ}のかど^{かど}を紙に写し取^{うつと}って、3つの角の大きさをくらべます。

① 角が大きいじゅん^{きごう}に記号で
書きましょう。

② 同じ大きさの角は、
どれとどれでしょう。

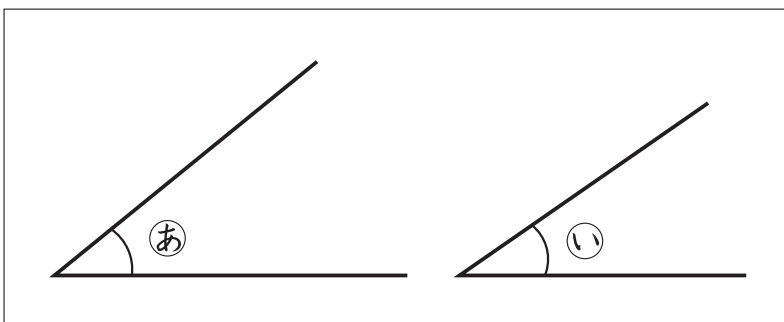


(う → あ → い)



(か と く)

③ 下の2つのかど^{かど}を紙に写し取^{うつと}って、角の大きさをくらべ、
大きいほうの記号を書きましょう。



(あ)

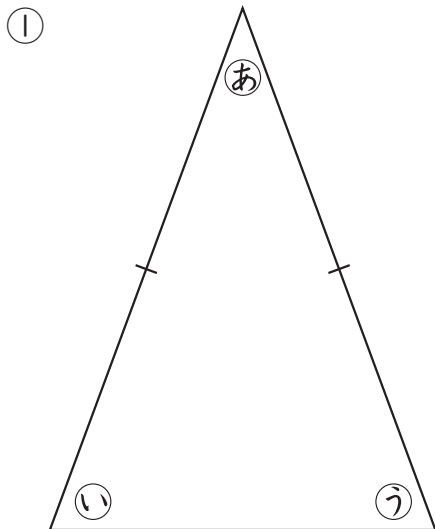
ねらい 二等辺三角形、正三角形の角の相等について理解する。

Ⅰ 次の□の中に数を、()にはことばを書きましょう。

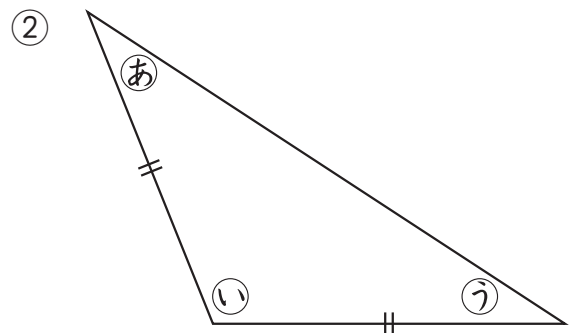
① 二等辺三角形の(2)つの辺の長さ^{にとうへん}と2つの(角)の大きさ^{ひと}は等しくなっています。

② 正三角形の3つの(辺)の長さ^{きごう}と3つの(角)の大きさはすべて等しくなっています。

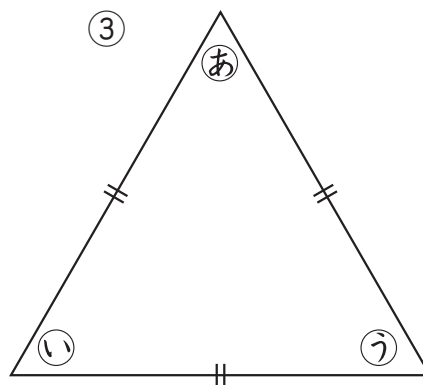
Ⅱ 次の二等辺三角形や正三角形で、等しい角をえらび、記号で書きましょう。
うすい紙に写し取って切り取り、角の大きさをくらべましょう。



(い と う)



(あ と う)



(あ と い と う)

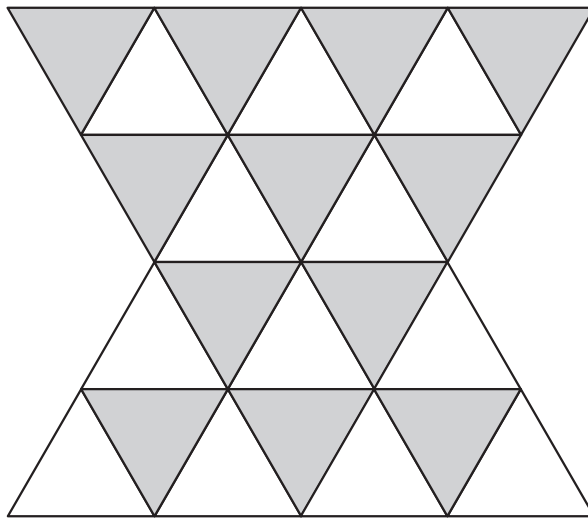
13 三角形
(学んだことを使おう) ⑦

名前

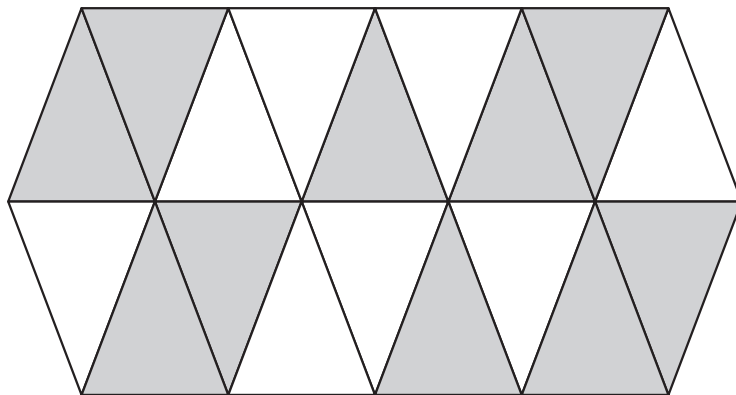
ねらい 二等辺三角形、正三角形による敷き詰めの構成、観察を通して図形についての感覚を豊かにする。

Ⅰ 教科書の141ページの三角形をすきまなくならべて、
下の①、②のもようと同じもようを作しましょう。

① 正三角形^{つか}を使って



② 二等辺^{にとうへん}三角形を使って

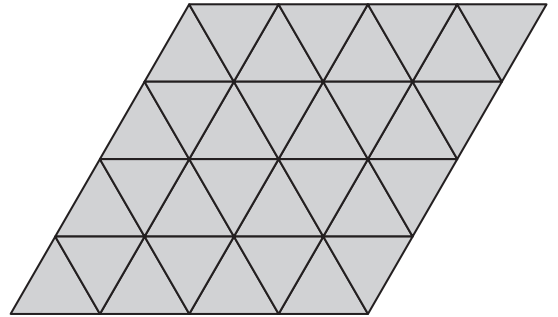


★ 算数ワールド
タイルは何まい

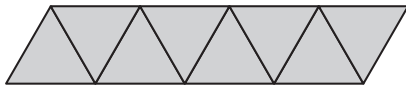
名
前

ねらい 規則的に並んだ正三角形のタイルの枚数の求め方を、いろいろな式で考える。

- Ⅰ 形も大きさも同じ三角形のタイルを
使って、右のような形を作りました。
タイルは何まいあるでしょうか。
いろいろなもとめ方を考えましょう。

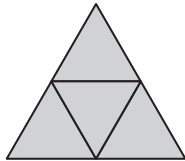


- ① タイルを8まい組み合わせた形



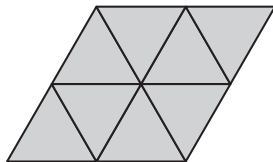
$$8 \times 4 = 32$$

- ② タイルを4まい組み合わせた形

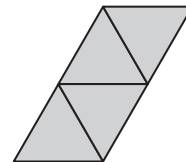


$$4 \times 8 = 32$$

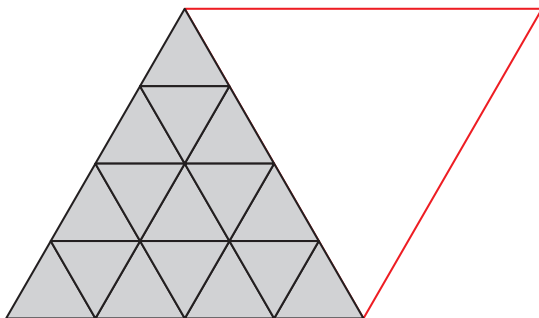
- ③ 下のような形のいくつか分でもとめましょう。



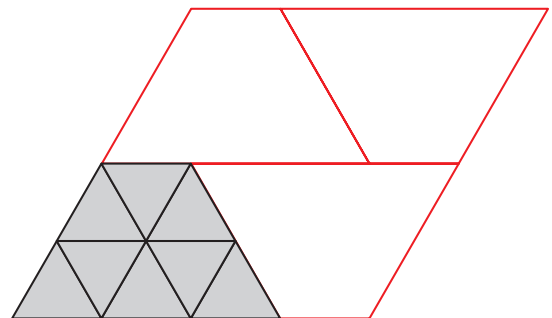
$$8 \times 4 = 32$$



$$4 \times 8 = 32$$



$$16 \times 2 = 32$$



$$8 \times 4 = 32$$